

No. 6-48

国名	インドネシア共和国			総支出経費	186,213,482 円	
プロジェクト名	和	インドネシア共和国ウジュンパンダン石炭火力発電所計画調査			調査の種類	本格
	外	Feasibility Study on Ujung Pandang Steam Power Plant Development Project in the Republic of Indonesia				
調査団長	氏名	枝廣 喬介			調査の種類	本格
	所属	株式会社ニュージエツ7 顧問				
調査団	調査団員数	31 名			計画申請	6年6月23日 国協(鉦調)第5-058号
	現地調査期間	6.7.25~6.8.23, 6.10.23~6.11.6, 7.2.24~7.3.25			計画承認	6年8月18日 通第975号
	報告書説明期間				調査完了日	7年3月末日
使用コンサルタント名	株式会社ニュージエツ7 (業務実施契約)			担当	資源開発調査課 善光健治	

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

スラウェシ島南部ウジュンパンダン市南方約70kmの海岸沿いに石炭火力発電所を建設するためF/Sである。

内容 (1) 予備調査段階

- 1) 資料調査 6年度
- 2) 石炭供給調査 "
- 3) 電力開発計画 "
- 4) 初期環境調査 "
- 5) サイト選定調査 "

(2) 詳細調査段階 6年度

- 1) 詳細現地調査 "
- 2) 環境影響調査 " 7年度
- 3) 最適計画策定 "

(3) フェジビリティ設計段階

- 1) フェジビリティ設計 6年度
- 2) 工事計画 7年度
- 3) 工事費積算 "
- 4) 経済・財務分析 "

報告書

- イセアクションシート 6年度
- プログラレポート "
- インテリムレポート "
- ドラフトタイトルレポート 7年度
- タイトルレポート "

(2) 結論及び勧告 (調査結果)

6年度のこの調査業務は概ね当初計画どおり進んでいる。発電所のサイトとして最適候補地点を選定した。

(3) その他 (今後の見通し等)

環境影響調査を引続き実施し、その調査結果を分析・評価を行い、ドラフトタイトルレポートに反映させていく。

4. 調査業務の実施に要する経費細目の配分 (※ 計画・変更・流用額は千円未満切り上げ)

No.

(単位:円)

		I 調査旅費 (外税)	II 現地調査 (外税)	III 資機材等 購送費 (外税)	IV 報告書 作成費 (外税)	V 技術費 (外税)	VI 附帯費 (外税)	VII 消費税 ※ (ア)	小 計 (A) (内税)	VIII 機材供与 (外税)	VII 消費税 ※ (イ)	小 計 (B) (内税)	消費税計 (ア+イ)	合 計 (A+B) (内税)
①計画額	事業団直営	577,000	208,000	2,810,000	0	//////	10,000	109,000	3,714,000	14,100,000	423,000	14,523,000	532,000	18,237,000
	JICA契約分	22,315,000	2,617,000	289,000	570,000	145,636,000	0	5,143,000	176,570,000	0	0	0	5,143,000	176,570,000
	計	22,892,000	2,825,000	3,099,000	570,000	145,636,000	10,000	5,252,000	180,284,000	14,100,000	423,000	14,523,000	5,675,000	194,807,000
②変更額	事業団直営	516,000	0	▲1,688,000	0	//////	▲10,000	▲36,000	▲1,218,000	0	0	0	▲36,000	▲1,218,000
	JICA契約分	▲18,000	0	0	0	0	0	0	▲18,000	0	0	0	0	▲18,000
	計	498,000	0	▲1,688,000	0	0	▲10,000	▲36,000	▲1,236,000	0	0	0	▲36,000	▲1,236,000
③変更後額	事業団直営	1,093,000	208,000	1,122,000	0	//////	0	73,000	2,496,000	14,100,000	423,000	14,523,000	496,000	17,019,000
	JICA契約分	22,297,000	2,617,000	289,000	570,000	145,636,000	0	5,143,000	176,552,000	0	0	0	5,143,000	176,552,000
	計	23,390,000	2,825,000	1,411,000	570,000	145,636,000	0	5,216,000	179,048,000	14,100,000	423,000	14,523,000	5,639,000	193,571,000
④支出実績	事業団直営	1,033,276	122,778	1,121,637	0	//////	0	451	2,278,142	14,100,000	423,000	14,523,000	423,451	16,801,142
	JICA契約分	21,849,000	2,617,000	0	570,000	139,397,000	0	4,934,340	169,367,340	0	0	0	4,934,340	169,367,340
	計	22,882,276	2,739,778	1,121,637	570,000	139,397,000	0	4,934,791	171,690,482	14,100,000	423,000	14,523,000	5,357,791	186,213,482
⑤差引額 (①又は③ -④)	事業団直営	59,724	85,222	363	0	//////	0	72,549	217,858	0	0	0	72,549	217,858
	JICA契約分	448,000	0	289,000	0	6,239,000	0	208,660	7,184,660	0	0	0	208,660	7,184,660
	計	507,724	85,222	289,363	0	6,239,000	0	281,209	7,357,518	0	0	0	281,209	7,357,518

(JICAとコンサルとの契約締結状況等)

コンサルタント名	①計画額 (内税)	②契約締結額 (内税)	③変更・流用額 (内税)	④変更・流用 後額 (内税)	⑤支出実績額 (内税)	⑥差引額 (②又は④-⑤) (内税)
(株)ニュージェック	176,570,000	176,569,810				176,569,810
						0
						0
						0
						0

注) 支出実績に金額調整がある場合、実績及び差引額の縦計算がずれることがあります。

No. 6 - 49

国名		中華人民共和国				
プロジェクト名		和	中華人民共和国 寧夏石炭資源の開発利用計画 予備調査			
		外	Preparatory Study on Utilization of Coal in Ningxia of the People's Republic of China			
調査団	団長	氏名	江崎 弘 造		総支出経費	9,606,109 円
		所属	国際協力事業団 専門技術嘱託		調査の種類	予備
	調査団員数	7 名		計画申請	6年6月28日 国協(鉱調)第6-108号	
	現地調査期間	平成6年9月14日 ~ 9月27日		計画承認	6年8月18日 6通第 975号	
	報告書説明期間	~		調査完了日	6年11月20日	
使用コンサルタント名		大寺開発株式会社、株式会社地域計画連合 (役務提供契約)		担当	資源開発調査課 石川 剛	

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

本案件は、寧夏回族自治区石嘴山市の経済活性化を目指し、高度な科学技術を導入した石炭資源の開発利用のマスタープランを策定することと目的として各種調査を行うことである。

今回の予備調査は、現地での先方関係機関との協議を通じて、要請内容を確認し、本格調査の調査内容・工程等を用意しておくとともに、代表的な工場、炭鉱と踏査して、工業化の現況を確認した。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

本格調査の調査対象地域、調査項目、工程、中国側のカウンターパート機関等が明確になり、実施細則(S/W)原案作成の前提条件が整った。

(3) その他(今後の見通し等)

年度内に事前調査(S/Wミッション)を行うこととなった。

4. 調査業務の実施に要する経費細目の配分 (※ 計画・変更・流用額は千円未満切り上げ)

No.

(単位:円)

		I 調査旅費 (外税)	II 現地調査 (外税)	III 資機材等 購送費 (外税)	IV 報告書 作成費 (外税)	V 技術費 (外税)	VI 附帯費 (外税)	VII 消費税 ※ (ア)	小 計 (A) (内税)	VIII 機材供与 (外税)	VIII 消費税 ※ (イ)	小 計 (B) (内税)	消費税計 (ア+イ)	合 計 (A+B) (内税)
①計画額	事業団直営	3,123,000	638,000	50,000	200,000	//////	15,000	121,000	4,147,000	0	0	0	121,000	4,147,000
	コンサル契約分	0	0	0	0	6,032,000	0	181,000	6,213,000	0	0	0	181,000	6,213,000
	計	3,123,000	638,000	50,000	200,000	6,032,000	15,000	302,000	10,360,000	0	0	0	302,000	10,360,000
②変更額	事業団直営	0	▲379,000	▲25,000	▲200,000	//////	▲15,000	▲18,000	▲637,000	0	0	0	▲18,000	▲637,000
	コンサル契約分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	▲379,000	▲25,000	▲200,000	0	▲15,000	▲18,000	▲637,000	0	0	0	▲18,000	▲637,000
③変更後額	事業団直営	3,123,000	259,000	25,000	0	//////	0	103,000	3,510,000	0	0	0	▲18,000	▲637,000
	コンサル契約分	0	0	0	0	6,032,000	0	181,000	6,213,000	0	0	0	103,000	3,510,000
	計	3,123,000	259,000	25,000	0	6,032,000	0	284,000	9,723,000	0	0	0	181,000	6,213,000
④支出実績	事業団直営	3,117,931	253,012	21,560	0	//////	0	646	3,393,149	0	0	0	284,000	9,723,000
	コンサル契約分	0	0	0	0	6,032,000	0	180,960	6,212,960	0	0	0	646	3,393,149
	計	3,117,931	253,012	21,560	0	6,032,000	0	181,606	9,606,109	0	0	0	181,606	9,606,109
⑤差引額 (①又は③ -④)	事業団直営	5,069	5,988	3,440	0	//////	0	102,354	116,851	0	0	0	102,354	116,851
	コンサル契約分	0	0	0	0	0	0	40	40	0	0	0	40	40
	計	5,069	5,988	3,440	0	0	0	102,394	116,891	0	0	0	102,394	116,891

(JICAとコンサルとの契約締結状況等)

コンサルタント名	① 計画額 (内税)	② 契約締結額 (内税)	③ 変更・流用額 (内税)	④ 変更・流用 後額 (内税)	⑤ 支出実績額 (内税)	⑥ 差引額 (②又は④-⑤) (内税)
大手開発(株)		2,772,440 + 83,110 2,855,160				
(株)地域計画連合		2,342,600 + 26,260 2,412,260			2,855,160	-2,855,160
(財)日本国際協力センター		918,000 + 27,540 945,540			2,412,260	-2,412,260
					945,540	-945,540
						0
						0

No. 6-50

国名	コスタリカ共和国.			
プロジェクト名	和	コスタリカ共和国ロスジャ-ノス水力発電開発計画調査		
	外	Feasibility Study on Los Llanos Hydroelectric Power Development Project in the Republic of Costa Rica.		
調査団長	氏名	海老 康正.	総支出経費	175,175,370 円
	所属	電源開発(株) 国際事業部 審議役.	調査の種類	本格
調査団	調査団員数	24 名	計画申請	6年 6月 28日 国協(鉦調)第 6-118号
	現地調査期間	6.8.29~6.9.27, 6.11.13~6.12.24, 7.2.27~7.3.13	計画承認	6年 8月 18日 6通第 975号
	報告書説明期間		調査完了日	7年 3月 末日
使用コンサルタント名	電源開発株式会社.	(役務提供契約)	担当	資源開発調査課 善光健治.

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

本調査は、「コ」国の太平洋側に流れるテラホン川の中流域に位置するロスジャ-ノス地区において、電力調査、環境調査、地形測量、地質調査等を行って、水力発電所(99MWを計画)を建設するための最適計画案を策定し、実施可能性を検証する。

内容

1. 予備調査段階
 2. 詳細調査段階. (-部7年度)
 3. フェジビリティ設計段階(7年度)
 4. 報告書 IC/R (インベスティガション)
 - P/R (プログラム)
 - IT/R (インテリジェンス)
 - DF/R (ドラフト・フィニッシュ)
 - F/R (フィニッシュ)
- (7年度)

(2) 結論及び勧告(調査結果)

調査は計画どおり進行しており、6年度の予備調査結果よりダム、水路、発電所形式、レイアウトの選定を行った。また、プランでは流域変更案が前提であり調査団もこれに代わる適切案を見出していない。

(3) その他(今後の見通し等)

予備調査結果から、環境影響評価作業の進捗に合わせ最適開発計画案を策定する。

4. 調査業務の実施に要する経費細目の配分

総括表

円

(単位:円)

		I 調査経費 (外税)	II 現地調査費 (外税)	III 資料等 購置費 (外税)	IV 報告書 作成費 (外税)	V 民泊費 (外税)	VI 印刷費 (外税)	VII 通費 (円)	小計 (A) (内税)	VIII 現地調査費 (外税)	IX 通費 (円)	小計 (B) (内税)	X 通費 (円+円)	合計 (A+B) (内税)
		①計 画 類	事業用直営分	856,000	257,000	2,000,000	0	0	10,000	94,000	3,217,000	19,361,000	581,000	19,942,000
	コンサル契約分	23,877,000	1,302,000	303,000	1,003,000	81,713,000	0	3,246,000	111,444,000	0	0	0	3,246,000	111,444,000
	計	24,733,000	1,559,000	2,303,000	1,003,000	81,713,000	0	3,340,000	114,661,000	0	0	0	3,592,000	114,661,000
②変更・流用類	事業用直営分	4,000	▲186,000	▲400,000	0	0	▲10,000	▲18,000	▲610,000	0	0	0	▲18,000	▲610,000
	コンサル契約分	▲10,000	0	0	0	▲111,000	0	▲3,000	▲124,000	0	0	0	▲3,000	▲124,000
	計	▲6,000	▲186,000	▲400,000	0	▲111,000	▲10,000	▲21,000	▲734,000	0	0	0	▲21,000	▲734,000
③変更・流用後類	事業用直営分	860,000	91,000	1,600,000	0	0	0	96,000	2,607,000	19,361,000	581,000	19,942,000	657,000	22,549,000
	コンサル契約分	23,867,000	1,302,000	303,000	1,003,000	81,602,000	0	3,243,000	111,320,000	0	0	0	3,243,000	111,320,000
	計	24,727,000	1,393,000	1,903,000	1,003,000	81,602,000	0	3,339,000	112,927,000	0	0	0	3,486,000	112,927,000
④支出実績類	事業用直営分	857,438	70,357	1,476,895	0	0	0	600	2,407,290	19,361,000	580,830	19,941,830	581,430	22,349,120
	コンサル契約分	23,867,000	253,000	243,000	1,003,000	81,385,000	0	3,208,530	110,159,530	0	0	0	3,208,530	110,159,530
	計	24,724,438	323,357	1,719,895	1,003,000	81,385,000	0	3,209,130	110,319,060	0	0	0	3,417,060	110,319,060
⑤差引類 (①+II③-④)	事業用直営分	562	643	123,105	0	0	0	75,400	199,710	0	170	170	75,570	199,880
	コンサル契約分	0	1,049,000	60,000	0	17,000	0	34,470	1,160,470	0	0	0	34,470	1,160,470
	計	562	1,055,643	183,105	0	17,000	0	119,870	1,356,180	0	170	170	110,040	1,356,350

(JICAとコンサルとの契約締結状況等)

コンサルト名	①計 画 類 (内税)	②契約締結類 (内税)	③変更・流用類 (内税)	④変更・流用後類 (内税)	⑤支出実績類 (内税)	⑥差 引 類 (②+II③-④) (内税)
東洋国際航空 J.V.	154,467,000	154,466,010				

4. 調査業務の実施に要する経費細目の配分 (※ 計画・変更・流用額は千円未満切り上げ)

(単位:円)

		I 調査旅費 (外税)	II 現地調査 (外税)	III 資機材等 購送費 (外税)	IV 報告書 作成費 (外税)	V 技術費 (外税)	VI 附帯費 (外税)	VII 消費税 ※ (ア)	小 計 (A) (内税)	VIII 機材供与 (外税)	VII 消費税 ※ (イ)	小 計 (B) (内税)	消費税計 (ア+イ)	合 計 (A+B) (内税)
①計画額	事業団直営	856,000	257,000	2,000,000	0	//////	10,000	94,000	3,217,000	19,361,000	581,000	19,942,000	675,000	23,159,000
	JICA契約分	23,877,000	1,302,000	303,000	1,003,000	81,713,000	0	3,246,000	111,444,000	0	0	0	3,246,000	111,444,000
	計	24,733,000	1,559,000	2,303,000	1,003,000	81,713,000	10,000	3,340,000	114,661,000	19,361,000	581,000	19,942,000	3,921,000	134,603,000
②変更額	事業団直営	4,000	▲186,000	▲400,000	0	//////	▲10,000	▲18,000	▲610,000	0	0	0	▲18,000	▲610,000
	JICA契約分	▲10,000	0	0	0	▲111,000	0	▲3,000	▲124,000	0	0	0	▲3,000	▲124,000
	計	▲6,000	▲186,000	▲400,000	0	▲111,000	▲10,000	▲21,000	▲734,000	0	0	0	▲21,000	▲734,000
③変更後額	事業団直営	860,000	71,000	1,600,000	0	//////	0	76,000	2,607,000	19,361,000	581,000	19,942,000	657,000	22,549,000
	JICA契約分	23,867,000	1,302,000	303,000	1,003,000	81,602,000	0	3,243,000	111,320,000	0	0	0	3,243,000	111,320,000
	計	24,727,000	1,373,000	1,903,000	1,003,000	81,602,000	0	3,319,000	113,927,000	19,361,000	581,000	19,942,000	3,900,000	133,869,000
④支出実績	事業団直営	859,438	70,357	1,476,895	0	//////	0	600	2,407,290	19,361,000	580,830	19,941,830	581,430	22,349,120
	JICA契約分	23,867,000	253,000	243,000	1,003,000	81,585,000	0	3,208,530	110,159,530	0	0	0	3,208,530	110,159,530
	計	24,726,438	323,357	1,719,895	1,003,000	81,585,000	0	3,209,130	112,566,820	19,361,000	580,830	19,941,830	3,789,960	132,508,650
⑤差引額 (①又は③ -④)	事業団直営	562	643	123,105	0	//////	0	75,400	199,710	0	170	170	75,570	199,880
	JICA契約分	0	1,049,000	60,000	0	17,000	0	34,470	1,160,470	0	0	0	34,470	1,160,470
	計	562	1,049,643	183,105	0	17,000	0	109,870	1,360,180	0	170	170	110,040	1,360,350

(JICAとコンサルとの契約締結状況等)

コンサルタント名	① 計画額 (内税)	② 契約締結額 (内税)	③ 変更・流用額 (内税)	④ 変更・流用 後額 (内税)	⑤ 支出実績額 (内税)	⑥ 差引額 (②又は④-⑤) (内税)
電源開発(株)	111,444,000	111,443,940			110,159,530	1,284,410 -111,443,940
						0
						0
						0
						0

4. 調査業務の実施に要する経費細目の配分 (※ 計画・変更・流用額は千円未満切り上げ)

(単位:円)

		I 調査旅費 (外税)	II 現地調査 (外税)	III 資機材等 購送費 (外税)	IV 報告書 作成費 (外税)	V 技術費 (外税)	VI 附帯費 (外税)	VII 消費税 ※(ア)	小計 (A) (内税)	VIII 機材供与 (外税)	VII 消費税 ※(イ)	小計 (B) (内税)	消費税計 (ア+イ)	合計 (A+B) (内税)
①計画額	事業団直営	0	0	0	0	////	0	0	0	0	0	0	0	0
	JICA契約分	3,861,000	2,474,000	1,692,000	253,000	33,489,000	0	1,254,000	43,023,000	0	0	0	1,254,000	43,023,000
	計	3,861,000	2,474,000	1,692,000	253,000	33,489,000	0	1,254,000	43,023,000	0	0	0	1,254,000	43,023,000
②変更額	事業団直営					////								
	JICA契約分													
	計													
③変更後額	事業団直営					////								
	JICA契約分													
	計													
④支出実績	事業団直営	0	0	0	0	////	0	0	0	0	0	0	0	0
	JICA契約分	3,861,000	2,465,000	1,437,000	253,000	33,408,000	0	1,242,720	42,666,720	0	0	0	1,242,720	42,666,720
	計	3,861,000	2,465,000	1,437,000	253,000	33,408,000	0	1,242,720	42,666,720	0	0	0	1,242,720	42,666,720
⑤差引額 (①又は③ -④)	事業団直営	0	0	0	0	////	0	0	0	0	0	0	0	0
	JICA契約分	0	9,000	255,000	0	81,000	0	11,280	356,280	0	0	0	11,280	356,280
	計	0	9,000	255,000	0	81,000	0	11,280	356,280	0	0	0	11,280	356,280

(JICAとコンサルとの契約締結状況等)

コンサルタント名	①計画額 (内税)	②契約締結額 (内税)	③変更・流用額 (内税)	④変更・流用 後額 (内税)	⑤支出実績額 (内税)	⑥差引額 (②又は④-⑤) (内税)
国際航業(株)	43,023,000	43,022,070			42,666,720	356,350 -43,022,070
						0
						0
						0
						0

No. 6-51

国名		インド			
プロジェクト名		和	インド工業団地建設計画 (F/S) 調査		
		外	The Feasibility Study on the Industrial Model Town in India		
調査団	団長	氏名	黒河内 恒	総支出経費	205,315,359 円
		所属	八千代エンジニアリング株式会社国際事業部常務取締役副事業部長	調査の種類	本格
	調査団員数	24名	計画申請	6年7月1日 国協(鉱調)第6-126号	
	現地調査期間	94.8.2~94.8.31 95.1.8~94.2.2	計画承認	6年8月18日 6通第 975号	
	報告書説明期間		調査完了日	7年3月31日	
使用コンサルタント名		八千代エンジニアリング(株)・テクノコンサルタンツ(株) (業務実施契約)		担当	工業開発調査課 岡田 実

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

1) 調査の目的

本プロジェクトは、デリー近郊のハリヤナ州グルガオンにおいて、外国資本・技術を導入し、雇用機会の創出、技術・経営手法の移転、インド産業界全体のレベルアップ等を図るべく、外国企業及びインド国内企業を誘致できるような国際水準のインフラを有したモデル工業団地建設にかかる計画を策定するものである。本件調査は同計画の財務的・経済的フィージビリティの確認を行うものである。

2) 調査内容

- ① マスタープラン調査内容のレビュー
- ② 投資需要調査
- ③ 外国投資促進調査
- ④ ハリヤナ州内及び周辺並びにグルガオン候補地現地調査
- ⑤ グルガオン候補地のための概念設計の形成
- ⑥ 社会環境アセスメント
- ⑦ 評価
- ⑧ 結論及び提言

(2) 結論及び勧告(調査結果)

95年3月までにドラフトファイナルレポートを取りまとめ、インド側に提出した。

(3) その他(今後の見通し等)

95年5月にドラフトファイナルレポートの説明、協議を行う予定。なお、本件に係る円借款要請が提出されており、現在検討中。

4. 調査業務の実施に要する経費細目の配分 (※ 計画・変更・流用額は千円未満切り上げ)

(単位:円)

		I 調査旅費 (外税)	II 現地調査 (外税)	III 資機材等 購送費 (外税)	IV 報告書 作成費 (外税)	V 技術費 (外税)	VI 附帯費 (外税)	VII 消費税 ※ (ア)	小 計 (A) (内税)	VIII 機材供与 (外税)	VII 消費税 ※ (イ)	小 計 (B) (内税)	消費税計 (ア+イ)	合 計 (A+B) (内税)
①計画額	事業団直営	2,927,000	460,000	40,000	0	//////	217,000	110,000	3,754,000	0	0	0	110,000	3,754,000
	JICA契約分	17,793,000	2,583,000	616,000	4,222,000	173,235,000	0	5,954,000	204,403,000	0	0	0	5,954,000	204,403,000
	計	20,720,000	3,043,000	656,000	4,222,000	173,235,000	217,000	6,064,000	208,157,000	0	0	0	6,064,000	208,157,000
②変更額	事業団直営	▲1,845,000	▲373,000	▲40,000	0	//////	▲117,000	▲71,000	▲2,446,000	0	0	0	▲71,000	▲2,446,000
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	▲1,845,000	▲373,000	▲40,000	0	0	▲117,000	▲71,000	▲2,446,000	0	0	0	▲71,000	▲2,446,000
③変更後額	事業団直営	1,082,000	87,000	0	0	//////	100,000	39,000	1,308,000	0	0	0	39,000	1,308,000
	JICA契約分	17,793,000	2,583,000	616,000	4,222,000	173,235,000	0	5,954,000	204,403,000	0	0	0	5,954,000	204,403,000
	計	18,875,000	2,670,000	616,000	4,222,000	173,235,000	100,000	5,993,000	205,711,000	0	0	0	5,993,000	205,711,000
④支出実績	事業団直営	1,081,883	85,886	0	0	//////	92,543	2,777	1,263,089	0	0	0	2,777	1,263,089
	JICA契約分	17,769,000	2,564,000	475,000	4,222,000	173,079,000	0	5,943,270	204,052,270	0	0	0	5,943,270	204,052,270
	計	18,850,883	2,649,886	475,000	4,222,000	173,079,000	92,543	5,946,047	205,315,359	0	0	0	5,946,047	205,315,359
⑤差引額 (①又は③ -④)	事業団直営	117	1,114	0	0	//////	7,457	36,223	44,911	0	0	0	36,223	44,911
	JICA契約分	24,000	19,000	141,000	0	156,000	0	10,730	350,730	0	0	0	10,730	350,730
	計	24,117	20,114	141,000	0	156,000	7,457	46,953	395,641	0	0	0	46,953	395,641

(JICAとコンサルとの契約締結状況等)

コンサルタント名	① 計画額 (内税)	② 契約締結額 (内税)	③ 変更・流用額 (内税)	④ 変更・流用 後額 (内税)	⑤ 支出実績額 (内税)	⑥ 差引額 (②又は④-⑤) (内税)
八千代エンジニアリング(株)	204,403,000	204,402,470			204,052,270	350,200
						0
						0
						0
						0

No. 6 - 52

国名		バングラデシュ人民共和国			
プロジェクト名		バングラデシュ人民共和国チッタゴン地域工業開発計画 本格調査			
		The study on Industrial Development of Chittagong Region in the People's Republic of Bangladesh			
調査団	団長	氏名	前 迪	総支出経費	168,713,091 円
		所属	(株) パシフィックコンサルタンツインターナショナル	調査の種類	Ⓢ本格
調査団	調査団員数	27 名		計画申請	6 年 7 月 1 日 国協(鉦調)第 6 - 126号
	現地調査期間	平成6年8月5日～平成6年8月19日、平成6年11月1日～平成6年12月10日		計画承認	6 年 8 月18 日 6 通第 975 号
	報告書説明期間			調査完了日	7 年 3 月24 日
使用コンサルタント名		㈱パシフィックコンサルタンツインターナショナル、日本工営㈱ (業務実施契約)		担 当	工業開発調査課 三村 悟

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

- 1) 目的: バングラデシュの経済の活性化と近代化を目指しつつ、チッタゴン地域の工業開発を図るためのマスタープランを策定することを目的とし、チッタゴン地域における全体的な工業開発戦略、政策、プロジェクトの提言を行うものである。
- 2) 内容: ①バングラデシュ経済のレビュー
 ②関連政策、法規、将来または進行中の計画
 ③チッタゴン地域経済の調査
 ④チッタゴン地域における工業化の現状調査
 ⑤工業振興のためのチッタゴン地域のポテンシャルの調査
 ⑥チッタゴン地域の工業開発の枠組みの設定
 ⑦チッタゴン地域における工業化のための総合的計画の策定
 ⑧優先事業の実施計画策定

(2) 結論及び勧告(調査結果)

中間報告書において、チッタゴン経済特区の創設と、海外からの投資促進のための体制整備を提言した。

(3) その他(今後の見通し等)

本年9月最終報告書提出予定。

4. 調査業務の実施に要する経費細目の配分 (※ 計画・変更・流用額は千円未満切り上げ)

(単位:円)

		I 調査旅費 (外税)	II 現地調査 (外税)	III 資機材等 購送費 (外税)	IV 報告書 作成費 (外税)	V 技術費 (外税)	VI 附帯費 (外税)	VII 消費税 ※(ア)	小計 (A) (内税)	VIII 機材供与 (外税)	VII 消費税 ※(イ)	小計 (B) (内税)	消費税計 (ア+イ)	合計 (A+B) (内税)
①計画額	事業団直営	546,000	48,000	0	0	//////	59,000	20,000	673,000	0	0	0	20,000	673,000
	コンサル契約分	19,653,000	1,737,000	488,000	1,231,000	140,743,000	0	4,916,000	168,768,000	0	0	0	4,916,000	168,768,000
	計	20,199,000	1,785,000	488,000	1,231,000	140,743,000	59,000	4,936,000	169,441,000	0	0	0	4,936,000	169,441,000
②変更額	事業団直営					//////								
	コンサル契約分													
	計													
③変更後額	事業団直営					//////								
	コンサル契約分													
	計													
④支出実績	事業団直営	545,628	46,743	0	0	//////	43,260	0	635,631	0	0	0	0	635,631
	コンサル契約分	19,584,000	1,597,000	488,000	1,231,000	140,282,000	0	4,895,460	168,077,460	0	0	0	4,895,460	168,077,460
	計	20,129,628	1,643,743	488,000	1,231,000	140,282,000	43,260	4,895,460	168,713,091	0	0	0	4,895,460	168,713,091
⑤差引額 (①又は③ -④)	事業団直営	372	1,257	0	0	//////	15,740	20,000	37,369	0	0	0	20,000	37,369
	コンサル契約分	69,000	140,000	0	0	461,000	0	20,540	690,540	0	0	0	20,540	690,540
	計	69,372	141,257	0	0	461,000	15,740	40,540	727,909	0	0	0	40,540	727,909

(JICAとコンサルとの契約締結状況等)

コンサルタント名	①計画額 (内税)	②契約締結額 (内税)	③変更・流用額 (内税)	④変更・流用 後額 (内税)	⑤支出実績額 (内税)	⑥差引額 (②又は④-⑤) (内税)
(株)エフ・エフ・インターナショナル	168,768,000	168,767,560			168,077,460	690,100
						0
						0
						0
						0

国名		ブルガリア共和国			
プロジェクト名		和	ブルガリア共和国鉄鋼産業再構築及び近代化計画	本格調査	
		英	Study for Restructuring and Modernization of Steel Industry in the Republic of Bulgaria		
調査団	団長	氏名	百合野 貴之	総支出経費	223,271,505 円
	調査団員数	所属	川崎製鉄株式会社 エンジニアリング事業部 制御・プラント技術部 主査(部長)	調査の種類	○本格
		調査期間	39名	計画申請	6年 7月 1日 国協(鉦調)第 6-126号
	現地調査期間	平成 6年 8月 8日 ~ 平成 6年 8月 23日 平成 6年 9月 17日 ~ 平成 6年 10月 30日 平成 7年 2月 1日 ~ 平成 7年 2月 11日	計画承認	6年 8月 18日 6通第 975号	
報告書説明期間		調査完了日	7年 3月 末日		
使用コンサルタント名		川崎製鉄株式会社、住友金属工業株式会社、株式会社神戸製鋼所 (業務実施契約)		担当	工業開発調査課 飯田 鉄二

1. 計画の概要

(1) 要約の背景・経緯

ブルガリア国では、1990年の社会主義政権から民主主義政権への移行の後、旧ソ連体制の崩壊にともない、同国の基幹産業である鉄鋼産業が、国内経済の落ち込みや、国際市場の喪失のため、衰退をはじめ、同国の経済に重大な影響を与え始めている。また、同産業に起因する環境汚染問題も深刻化しており、早急な改善が求められ始めている。

同背景のもと、「ブ」産業界の要請に基づき、1991年度、1992年度にわたりJICA個別専門家派遣による、同国最大の製鉄所であるクレミコフチ製鉄所の環境保全・省エネ対策への提言がなされた。同提言では、早急に必要な方策は、個々の製鉄所の改善案を策定する前に、まず、「ブ」国の鉄鋼産業界全体の方向づけをするべきである旨指摘した。

かかる同提言を踏まえ、1993年3月、「ブ」国政府は、同国の鉄鋼産業界の再構築及び、製鉄所の近代化にかかる開発調査の要請を起した。

同要請を受け、JICAは1993年9月にプロジェクト選定随時調査団を派遣し、要請内容の検証を行った。その後1994年1月、同調査の結果をもとに事前調査団を派遣し、S/Wの締結を行った。

(2) プロジェクトの概要

ブルガリア共和国の鉄鋼産業界の現状を把握し、フェーズIにおいて鉄鋼産業界の再構築を目的とした将来計画の策定を行い、合わせて、フェーズIIでは同計画に基づく、各製鉄所の近代化にかかる基本的な提言を含めたマスタープランを策定する。

<対象製鉄所>

- 1) クレミコフチ製鉄所
- 2) ストマナ製鉄所
- 3) レココ製鉄所
- 4) カメット製鉄所
- 5) プロメット製鉄所

フェーズI

- (1) 鉄鋼産業界に関する経済・政策等の背景調査
 - ① ブルガリアの経済状況
 - ② 工業開発・促進にかかる中・長期政策 ③ 関連法令・制度
- (2) 鉄鋼産業界の現状にかかる調査
 - ① 鉄鋼産業界の現状及び、鉄鋼産業界政策
 - ② 鉄鋼製品品種、及び生産量にかかる需要供給の現状及び傾向
 - ③ 鉄鋼製品の輸送、配送
- (3) 原材料及びエネルギーの供給状況
 - ① 原材料の供給状況 ② 原材料供給の将来見通し
 - ③ エネルギー(電気、石炭、天然ガス等)の供給状況
 - ④ エネルギー(電気、石炭、天然ガス等)供給の将来見通し
- (4) 鉄鋼産業界の再構築及び近代化にかかるマスタープラン
 - ① 鉄鋼製品需要供給にかかる将来予測
 - ② 鉄鋼製品生産計画(品種及び生産量)
 - ③ 原材料(鉄鉱石、スクラップ) ④ エネルギー源
 - ⑤ 環境汚染対策 ⑥ 製鉄所再構築全体計画

フェーズII

- (1) 製鉄所の現状調査(クレミコフチ、ストマナ、カメット、プロメット、ブルガスの5製鉄所の現状調査)
 - ① 過去5年間の生産及び、販売実績 ② 過去5年間の鉄鋼製品輸出入実績 ③ 組織、管理、及び人材 ④ 生産能力
 - ⑤ 設備(電気、天然ガス、工業用水を含む)
 - ⑥ 鉄鋼原料の供給ルート ⑦ 公害対策及び、公害対策設備
 - ⑧ 製品市場及び、販売網 ⑨ 生産コスト ⑩ 財務状況
- (2) 5製鉄所の近代化計画の策定
 - ① 生産計画(製品構成、生産量、原料収支、品質、生産性)
 - ② 近代化のための製鉄所改善計画及び、コスト予測
 - ③ 組織、管理及び、人材
- (3) 結論及び勧告

2 結論及び勧告(調査結果)

1) 今年度調査でフェーズIに係る調査を実施し、プログレスレポートIおよびインテリムレポートを提出した。調査では、今後のブルガリアの経済成長及び鉄鋼生産計画の予測のための情報収集を行い、さらに5製鉄所の再構築・近代化のためのシナリオをブルガリア側と協議した。

3 その他(今後の見通し等)

今後フェーズIIにおいて、対象製鉄所トップ・関連官庁の工場近代化に対する要望事項の調査を行い、実現可能な鉄鋼業再構築・近代化計画に関するドラフトファイナルレポートの説明・協議を行う。

ファイナルレポートの提出—平成8年2月

4. 調査業務の実施に要する経費細目の配分 (※ 計画・変更・流用額は千円未満切り上げ)

No. _____

(単位:円)

		I 調査旅費 (外税)	II 現地調査 (外税)	III 資機材等 購送費 (外税)	IV 報告書 作成費 (外税)	V 技術費 (外税)	VI 附帯費 (外税)	VII 消費税 ※(ア)	小計 (A) (内税)	VIII 機材供与 (外税)	VII 消費税 ※(イ)	小計 (B) (内税)	消費税計 (ア+イ)	合計 (A+B) (内税)
①計画額	事業団直営	1,832,000	563,000	10,000	0	//////	20,000	73,000	2,498,000	0	0	0	73,000	2,498,000
	JICA契約分	39,898,000	7,223,000	1,952,000	8,500,000	163,086,000	0	6,620,000	227,279,000	0	0	0	6,620,000	227,279,000
	計	41,730,000	7,786,000	1,962,000	8,500,000	163,086,000	20,000	6,693,000	229,777,000	0	0	0	6,693,000	229,777,000
②変更額	事業団直営					//////								
	JICA契約分													
	計													
③変更後額	事業団直営					//////								
	JICA契約分													
	計													
④支出実績	事業団直営	1,646,387	183,358	0	0	//////	0	0	1,829,745	0	0	0	0	1,829,745
	JICA契約分	39,043,000 39,044,000	4,803,000	743,000	8,497,000	161,906,000	0	6,449,760	221,441,760 221,442,760	0	0	0	6,449,760	221,441,760 221,442,760
	計	40,689,387	4,986,358	743,000	8,497,000	161,906,000	0	6,449,760	223,271,505	0	0	0	6,449,760	223,271,505
⑤差引額 (①又は③ -④)	事業団直営	185,613	379,642	10,000	0	//////	20,000	73,000	668,255	0	0	0	73,000	668,255
	JICA契約分	855,000 854,000	2,420,000	1,209,000	3,000	1,180,000	0	170,240	5,837,240 5,838,240	0	0	0	170,240	5,837,240 5,838,240
	計	1,040,613	2,799,642	1,219,000	3,000	1,180,000	20,000	243,240	6,505,495	0	0	0	243,240	6,505,495

(JICAとコンサルとの契約締結状況等)

コンサルタント名	①計画額 (内税)	②契約締結額 (内税)	③変更・流用額 (内税)	④変更・流用 後額 (内税)	⑤支出実績額 (内税)	⑥差引額 (②又は④-⑤) (内税)
川崎製鉄(株)	227,279,000	227,277,740			221,441,760	5,835,980
						0
						0
						0
						0

注) 支出実績に金額調整がある場合、実績及び差引額の縦計算がずれることがあります。

国名		ヴェトナム			
プロジェクト名		和	ヴェトナムハノイ地域工業開発マスタープラン調査		
		外	The Study on Master Plan of Industrial Development in the Hanoi Area in Viet Nam		
調査団	団長	氏名	小泉 肇	総支出経費	210,059,774 円
		所属	日本工営株式会社	調査の種類	本格
	調査団員数	36名	計画申請	6年7月1日 国協(鉦調)第6-126号	
	現地調査期間	平成6年8月30日～平成6年9月30日 平成6年12月1日～平成7年1月12日	計画承認	6年8月18日 6通第 975号	
	報告書説明期間		調査完了日	7年3月31日	
使用コンサルタント名		日本工営(株)・テクノコンサル(株)・(株)パシフィックコンサルタンツインターナショナル (業務実施契約)		担当	工業開発調査課 岡田 実

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

1) 調査目的

本調査は、ハノイ地域の工業開発を促進するためのマスタープランを策定するものであり、その中で開発促進の一方策である工業団地形成の可能性につき検討するものである。

2) 調査内容

- ①背景調査
- ②政策現状確認
- ③貿易促進策レビュー
- ④ハノイ地域の現況及び将来性調査
- ⑤ハノイ地域の工業生産レビュー
- ⑥ハノイ地域の有望産業の選定
- ⑦工業団地に関する調査
- ⑧工業団地への投資需要調査
- ⑨ハノイ地域工業開発マスタープランの策定
- ⑩工業団地に係る概念設計
- ⑪提言

(2) 結論及び勧告(調査結果)

第2次現地調査終了時点の主たる考察は次の通り。

- 1) ハノイ地域の既存工場は公営企業が多く、生産性に低く、設備の稼働率は20%程度と推定。
- 2) 生産の効率化、民営化促進のためには分業・下請け制度の導入が必要。
- 3) ハノイ地域の工業として機械・金属・電気工業の促進が推奨される。また各工場に保有されている鋳鉄、鋳鋼設備を集中させ、分業体制を構築することを提案。
- 4) 工業団地への投資需要として当面200～400社が見込め、第一期としてGia Lam地区及びThang Long North地区の建設を提案。

(3) その他(今後の見通し等)

95年5月～6月の第3次現地調査において、インテリムレポートの説明、協議、追加調査を行い、ドラフトファイナルレポートのとりまとめを95年8月までに行う。95年9月～10月にドラフトファイナルレポート説明、協議、技術移転セミナーを実施する。

4. 調査業務の実施に要する経費細目の配分 (※ 計画・変更・流用額は千円未満切り上げ)

No. _____

(単位:円)

		I 調査旅費 (外税)	II 現地調査 (外税)	III 資機材等 購送費 (外税)	IV 報告書 作成費 (外税)	V 技術費 (外税)	VI 附帯費 (外税)	VII 消費税 ※ (ア)	小 計 (A) (内税)	VIII 機材供与 (外税)	VII 消費税 ※ (イ)	小 計 (B) (内税)	消費税計 (ア+イ)	合 計 (A+B) (内税)
①計画額	事業団直営	1,739,000	476,000	20,000	0	//////	130,000	71,000	2,436,000	0	0	0	71,000	2,436,000
	JICA契約分	22,662,000	3,197,000	1,353,000	960,000	176,163,000	0	6,131,000	210,466,000	0	0	0	6,131,000	210,466,000
	計	24,401,000	3,673,000	1,373,000	960,000	176,163,000	130,000	6,202,000	212,902,000	0	0	0	6,202,000	212,902,000
②変更額	事業団直営	▲1,286,000	▲397,000	▲20,000	0	//////	▲30,000	▲52,000	▲1,785,000	0	0	0	▲52,000	▲1,785,000
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	▲1,286,000	▲397,000	▲20,000	0	0	▲30,000	▲52,000	▲1,785,000	0	0	0	▲52,000	▲1,785,000
③変更後額	事業団直営	453,000	79,000	0	0	//////	100,000	19,000	651,000	0	0	0	19,000	651,000
	JICA契約分	22,662,000	3,197,000	1,353,000	960,000	176,163,000	0	6,131,000	210,466,000	0	0	0	6,131,000	210,466,000
	計	23,115,000	3,276,000	1,353,000	960,000	176,163,000	100,000	6,150,000	211,117,000	0	0	0	6,150,000	211,117,000
④支出実績	事業団直営	452,428	77,150	0	0	//////	102,374	3,072	635,024	0	0	0	3,072	635,024
	JICA契約分	23,536,000	2,943,000	961,000	960,000	174,925,000	0	6,099,750	209,424,750	0	0	0	6,099,750	209,424,750
	計	23,988,428	3,020,150	961,000	960,000	174,925,000	102,374	6,102,822	210,059,774	0	0	0	6,102,822	210,059,774
⑤差引額 (①又は③ -④)	事業団直営	572	1,850	0	0	//////	▲2,374	15,928	15,976	0	0	0	15,928	15,976
	JICA契約分	▲874,000	254,000	392,000	0	1,238,000	0	31,250	1,041,250	0	0	0	31,250	1,041,250
	計	▲873,428	255,850	392,000	0	1,238,000	▲2,374	47,178	1,057,226	0	0	0	47,178	1,057,226

(JICAとコンサルとの契約締結状況等)

コンサルタント名	① 計画額 (内税)	② 契約締結額 (内税)	③ 変更・流用額 (内税)	④ 変更・流用 後額 (内税)	⑤ 支出実績額 (内税)	⑥ 差引額 (②又は④-⑤) (内税)
日本工営(株)	210,466,000	210,465,050			209,424,750	1,040,300
						0
						0
						0
						0

国名		インドネシア共和国					
プロジェクト名		インドネシア共和国工業標準化及び品質管理推進基本計画調査 本格調査					
		Study on Master Plan for Industrial Standardization and the Promotion of Quality Control in the Republic of Indonesia					
調査団	団長	氏名	猪岡 哲男		総支出経費	133,832,951 円	
		所属	ユニコインターナショナル株式会社 コンサルティング業務本部 部長		調査の種類	本格	
	調査団員数	26名			計画申請	6年 7月 /日 国協(鉦調)第 6-126号	
	現地調査期間	平成 6年 9月 13日 ~ 平成 6年 10月 12日 平成 6年 11月 23日 ~ 平成 6年 12月 28日			計画承認	6年 8月 18日 6通第 975号	
	報告書説明期間	平成 7年 6月 20日 ~ 平成 7年 6月 27日			調査完了日	7年 3月 10日	
使用コンサルタント名		ユニコインターナショナル株式会社・日本規格協会 (業務実施契約)			担当	工業開発調査課 飯田 鉄二	

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

(1) 背景の背景・経緯

インドネシア共和国においては近年、その経済基礎を工業へと転換するため、工業技術開発に重点を置いてきている。特に、工業製品の品質の改善・向上を図ることが、国際市場における競争力を向上し、今後の同国の工業化促進に不可欠との認識から、国全体の課題とされている。

この目的達成のためには、まず、同国における工業標準化、品質管理、認証制度の向上・拡充を図ることが急務であることから、第6次5か年計画の中でもその重点項目としている。

かかる状況の中、JICAは上記項目からなる開発調査の非公式要請を受けて、93年9月にプロジェクト選定後調査団を派遣し先方関係機関と要請内容等について協議を行った。

この結果、当国における工業標準化・品質管理については、第6次5か年計画の中でも経済成長を推進するため重要な位置付けをされており、日本の当該分野での実績に基づいた支援を求めることは現実的で妥当であるものと判断された。

上記を受け、予備調査、事前調査実施し先方の要請を踏まえS/Wを締結し、本年度より本格調査を実施するものである。

(2) プロジェクトの概要

イ国に工業において、生産性向上、品質向上を図るために、下記の項目に重点をおいた工業標準化・品質管理推進基本計画を策定する。

- ① 国際的に通用する国内規格の開発
- ② 国内産業への国内規格の拡充
- ③ 認証、認定システムの強化
- ④ 産業界への品質管理システムの導入
- ⑤ 試験・検査設備・施設の強化
- ⑥ 試験・標準化技術の研究・開発強化
- ⑦ 技術面での人材開発と技術移転

- (1) 背景調査
 - 1) 経済状況
 - 2) 工業の現状
 - 3) 工業標準化、品質管理、認証・認定制度、試験・検査制度の現状把握
 - 4) 工業製品の輸出状況
 - 5) 工業開発にかかる政策、法令、制度
- (2) 工業標準化、品質管理、認証・認定制度、試験・検査制度の分析と問題点
 - 1) 政策、法律及び規則
 - 2) 実施システムと管理運営のメカニズム
 - 3) 管理運営組織とその機能
 - 4) 試験検査施設・設備及び、人材
 - 5) 認定・認証プロセス
 - 6) 試験及び計量プロセス
 - 7) 標準化、品質管理、認定・認証、試験・検査にかかる教育及び研修制度
 - 8) 産業界における標準化及び品質管理
- (3) 工業標準化・品質管理推進のためのマスタープランの策定
 - 1) 工業標準化事業に対する法令制度及び技術的側面からの提言
 - ① 工業標準化事業に対する総合的な提言
 - ② 国家規格と国際規格との調和
 - ③ 国家規格の産業界への普及
 - ④ 国家認定・認証スキームの強化
 - ⑤ 品質管理システムの産業界への導入
 - ⑥ 試験、試験・検査事業の強化
 - ⑦ 人材開発と技術移転
 - 2) マスタープランの効果測定
 - 3) 暫定実施計画
- (4) 日本における標準化事業の紹介

(2) 結論及び勧告(調査結果)

平成6年9月に第1次現地調査が実施され、インセプションレポートの説明及び協議を行った。また、工業セクターと対象サブセクターにおける標準化・品質管理ニーズに関する全体像を把握するための調査を行った。

平成6年11月に第2次現地調査が実施され、インテリムレポートの説明及び協議を行った。また、第一次国内作業中に行った業界・企業質問票調査の結果を集約・解析しイ国側と標準化、品質管理推進の強化について意見交換を行った。

(3) その他(今後の見通し等)

ドラフトファイナルレポートの説明—平成7年6月下旬

ファイナルレポートの提出—平成7年12月

4. 調査業務の実施に要する経費細目の配分 (※ 計画・変更・流用額は千円未満切り上げ)

(単位:円)

		I 調査旅費 (外税)	II 現地調査 (外税)	III 資機材等 購送費 (外税)	IV 報告書 作成費 (外税)	V 技術費 (外税)	VI 附帯費 (外税)	VII 消費税 ※(ア)	小計 (A) (内税)	VIII 機材供与 (外税)	VII 消費税 ※(イ)	小計 (B) (内税)	消費税計 (ア+イ)	合計 (A+B) (内税)
①計画額	事業団直営	243,000	153,000	0	0	//////	20,000	13,000	429,000	0	0	0	13,000	429,000
	JICA契約分	17,557,000	2,058,000	386,000	593,000	109,270,000	0	3,896,000	133,760,000	0	0	0	3,896,000	133,760,000
	計	17,800,000	2,211,000	386,000	593,000	109,270,000	20,000	3,909,000	134,189,000	0	0	0	3,909,000	134,189,000
②変更額	事業団直営	0	▲118,000	0	0	//////	▲20,000	▲4,000	▲142,000	0	0	0	▲4,000	▲142,000
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	▲118,000	0	0	0	▲20,000	▲4,000	▲142,000	0	0	0	▲4,000	▲142,000
③変更後額	事業団直営	243,000	35,000	0	0	//////	0	9,000	287,000	0	0	0	9,000	287,000
	JICA契約分	17,557,000	2,058,000	386,000	593,000	109,270,000	0	3,896,000	133,760,000	0	0	0	3,896,000	133,760,000
	計	17,800,000	2,093,000	386,000	593,000	109,270,000	0	3,905,000	134,047,000	0	0	0	3,905,000	134,047,000
④支出実績	事業団直営	242,719	34,252	0	0	//////	0	0	276,971	0	0	0	0	276,971
	JICA契約分	17,550,000	2,058,000 2,084,000	386,000	447,000	109,199,000	0	3,889,980	133,555,980 133,529,980	0	0	0	3,889,980	133,529,980
	計	17,792,719	2,118,252	386,000	447,000	109,199,000	0	3,889,980	133,832,951	0	0	0	3,889,980	133,832,951
⑤差引額 (①又は③ -④)	事業団直営	281	748	0	0	//////	0	9,000	10,029	0	0	0	9,000	10,029
	JICA契約分	7,000	0	0	146,000	71,000	0	6,020	230,020	0	0	0	6,020	230,020
	計	7,281	▲25,252	0	146,000	71,000	0	15,020	214,049	0	0	0	15,020	214,049

(JICAとコンサルとの契約締結状況等)

コンサルタント名	①計画額 (内税)	②契約締結額 (内税)	③変更・流用額 (内税)	④変更・流用 後額 (内税)	⑤支出実績額 (内税)	⑥差引額 (②又は④-⑤) (内税)
ユニコインターナショナル(株)	133,760,000	133,759,920			133,555,980	203,940
						0
						0
						0
						0

注) 支出実績に金額調整がある場合、実績及び差引額の縦計算がずれることがあります。

No. 6 - 56

国名		中華人民共和国				
プロジェクト名		和	中華人民共和国工場近代化計画 予備調査			
		外	The Study for the Factory Modernization in the People's Republic of China			
調査団	団長	氏名	棚橋 滋雄 他3名		総支出経費	12,036,839 円
		所属	国際協力事業団鉱工業開発調査部部長 他		調査の種類	予備
	調査団員数	18 名		計画申請	6年 7月 1日 国協(鉱調)第 6-126号	
	現地調査期間	6年 7月15日 ~ 6年 7月26日		計画承認	6年 8月 18日 6通第 975号	
	報告書説明期間			調査完了日	6年 10月 19日	
使用コンサルタント名				担当	工業開発調査課 岡田 実	

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

本件調査は、中国工場近代化計画平成6年度要請案件12件のうち、10案件について本格調査実施の可能性判断の為、当該工場の業界における位置付け、要請の内容詳細及び工場概要を調査すると共に、本格調査を実施する場合の調査内容についての予備協議を行ったものである。

調査対象工場は次の通り。

- ①蘇州試験器工場
- ②蘇州紡績器材工場
- ③蘇州電気通信機器工場
- ④揚州シリンダー工場
- ⑤常熟キャブレター工場
- ⑥上海中国電工工場
- ⑦無錫ポンプ工場
- ⑧無錫市無線パーツ工場
- ⑨安慶ピストンリング工場
- ⑩合肥江淮自動車製造工場

(2) 結論及び勧告(調査結果)

現地工場視察、国家経済貿易委員会との協議、及び関係各省等の協議の結果、次の7件を平成6年度案件として採択した。

- ①蘇州試験器工場
 - ②蘇州紡績器材工場
 - ③揚州シリンダー工場
 - ④常熟キャブレター工場
 - ⑤上海中国電工工場
 - ⑥無錫ポンプ工場
 - ⑦無錫市無線パーツ工場
- さらに予算枠等の制約から次の案件を平成7年度案件として採択した。
- ⑧安慶ピストンリング工場

(3) その他(今後の見通し等)

- ①～⑦は本格調査実施中。
- ⑧については本年6月より本格調査開始予定。

4. 調査業務の実施に要する経費細目の配分 (※ 計画・変更・流用額は千円未満切り上げ)

(単位:円)

		I 調査旅費 (外税)	II 現地調査 (外税)	III 資機材等 購送費 (外税)	IV 報告書 作成費 (外税)	V 技術費 (外税)	VI 附帯費 (外税)	VII 消費税 ※(ア)	小計 (A) (内税)	VIII 機材供与 (外税)	VII 消費税 ※(イ)	小計 (B) (内税)	消費税計 (ア+イ)	合計 (A+B) (内税)
①計画額	事業団直営	6,956,000	584,000	19,000	400,000	//////	1,808,000	294,000	10,061,000	0	0	0	294,000	10,061,000
	JICA契約分	0	0	0	0	2,862,000	0	86,000	2,948,000	0	0	0	86,000	2,948,000
	計	6,956,000	584,000	19,000	400,000	2,862,000	1,808,000	380,000	13,009,000	0	0	0	380,000	13,009,000
②変更額	事業団直営					//////								
	JICA契約分													
	計													
③変更後額	事業団直営					//////								
	JICA契約分													
	計													
④支出実績	事業団直営	6,955,087	566,796	18,095	380,000	//////	1,157,058	11,942	9,088,978	0	0	0	11,942	9,088,978
	JICA契約分	0	0	0	0	2,862,000	0	85,860	2,947,860	0	0	0	85,860	2,947,860
	計	6,955,087	566,796	18,095	380,000	2,862,000	1,157,058	97,802	12,036,838	0	0	0	97,802	12,036,838
⑤差引額 (①又は③ -④)	事業団直営	913	17,204	905	20,000	//////	650,942	282,058	972,022	0	0	0	282,058	972,022
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	140	140	0	0	0	140	140
	計	913	17,204	905	20,000	0	650,942	282,198	972,162	0	0	0	282,198	972,162

(JICAとコンサルとの契約締結状況等)

コンサルタント名	①計画額 (内税)	②契約締結額 (内税)	③変更・流用額 (内税)	④変更・流用 後額 (内税)	⑤支出実績額 (内税)	⑥差引額 (②又は④-⑤) (内税)
						0
						0
						0
						0
						0

No. 6 - 57

国名		バングラデシュ人民共和国			
プロジェクト名		和 バングラデシュ人民共和国チッタゴン地域工業開発計画 事前調査			
		The study on Industrial Development of Chittagong Region in the People's Republic of Bangradesh			
調査団	団長	氏名	佐々木 弘世	総支出経費	117,260 円
		所属	国際協力事業団鉦工業開発調査部工業開発調査課	調査の種類	事前
	調査団員数		計画申請	6年7月28日 国協(鉦調)第7-76号	
	現地調査期間		計画承認	6年8月31日 6通第1105号	
	報告書説明期間		調査完了日	6年12月31日	
使用コンサルタント名			担当	工業開発調査課 三村 悟	

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

1) 目的: 有望投資業種の想定、具体的な投資促進策などの検討を行うと共に、バングラデシュとしての取るべき工業化戦略及びその中でチッタゴン地区の工業開発方針を明らかにするためのマスタープランの策定。

2) 内容: ①工業を取り巻く情勢分析
 ②企業進出需要分析
 ③ターゲット工業分野の検討
 ④投資促進策の検討
 ⑤地場産業育成策の検討
 ⑥周辺諸国の動向をも踏まえた工業化政策の検討
 ⑦工業団地建設の有効性、有用性の検討

(2) 結論及び勧告(調査結果)

平成6年3月実施した現地調査の報告書を作成した。

(3) その他(今後の見通し等)

4. 調査業務の実施に要する経費細目の配分 (※ 計画・変更・流用額は千円未満切り上げ)

(単位:円)

		I 調査旅費 (外税)	II 現地調査 (外税)	III 資機材等 購送費 (外税)	IV 報告書 作成費 (外税)	V 技術費 (外税)	VI 附帯費 (外税)	VII 消費税 ※ (ア)	小 計 (A) (内税)	VIII 機材供与 (外税)	VII 消費税 ※ (イ)	小 計 (B) (内税)	消費税計 (ア+イ)	合 計 (A+B) (内税)
①計画額	事業団直営	0	0	0	114,000	//////	0	4,000	118,000	0	0	0	4,000	118,000
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	114,000	0	0	4,000	118,000	0	0	0	4,000	118,000
②変更額	事業団直営					//////								
	JICA契約分													
	計													
③変更後額	事業団直営					//////								
	JICA契約分													
	計													
④支出実績	事業団直営	0	0	0	113,844	//////	0	3,416	117,260	0	0	0	3,416	117,260
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	113,844	0	0	3,416	117,260	0	0	0	3,416	117,260
⑤差引額 (①又は③ -④)	事業団直営	0	0	0	156	//////	0	584	740	0	0	0	584	740
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	156	0	0	584	740	0	0	0	584	740

(JICAとコンサルとの契約締結状況等)

コンサルタント名	① 計画額 (内税)	② 契約締結額 (内税)	③ 変更・流用額 (内税)	④ 変更・流用 後額 (内税)	⑤ 支出実績額 (内税)	⑥ 差引額 (②又は④-⑤) (内税)
						0
						0
						0
						0
						0

国名		インドネシア共和国		
プロジェクト名		和	インドネシア共和国工業標準化及び品質管理推進基本計画調査 事前調査	
		英	Study on Master Plan for Industrial Standardization and the Promotion of Quality Control	
調査団	氏名		総支出経費	57,040 円
	所属		調査の種類	事前
	調査団員数		計画申請	6年8月5日 国協(鉦調)第7-119号
	現地調査期間		計画承認	6年8月31日 6通第1105号
	報告書説明期間		調査完了日	7年9月末日
使用コンサルタント名			担当	工業開発調査課 飯田 鉄二

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

前年度に行われた事前調査の報告書を
 提出した。
 作成

(2) 結論及び勧告(調査結果)

(3) その他(今後の見通し等)

4. 調査業務の実施に要する経費細目の配分 (※ 計画・変更・流用額は千円未満切り上げ)

(単位:円)

		I 調査旅費 (外税)	II 現地調査 (外税)	III 資機材等 購送費 (外税)	IV 報告書 作成費 (外税)	V 技術費 (外税)	VI 附帯費 (外税)	VII 消費税 ※ (ア)	小 計 (A) (内税)	VIII 機材供与 (外税)	VII 消費税 ※ (イ)	小 計 (B) (内税)	消費税計 (ア+イ)	合 計 (A+B) (内税)
①計画額	事業団直営	0	0	0	56,000	//////	0	2,000	58,000	0	0	0	2,000	58,000
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	56,000	0	0	2,000	58,000	0	0	0	2,000	58,000
②変更額	事業団直営					//////								
	JICA契約分													
	計													
③変更後額	事業団直営					//////								
	JICA契約分													
	計													
④支出実績	事業団直営	0	0	0	55,378	//////	0	1,662	57,040	0	0	0	1,662	57,040
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	55,378	0	0	1,662	57,040	0	0	0	1,662	57,040
⑤差引額 (①又は③ -④)	事業団直営	0	0	0	622	//////	0	338	960	0	0	0	338	960
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	622	0	0	338	960	0	0	0	338	960

(JICAとコンサルとの契約締結状況等)

コンサルタント名	① 計画額 (内税)	② 契約締結額 (内税)	③ 変更・流用額 (内税)	④ 変更・流用 後額 (内税)	⑤ 支出実績額 (内税)	⑥ 差引額 (②又は④-⑤) (内税)
						0
						0
						0
						0
						0

No. 6 - 59

国名		区分不能				
プロジェクト名		和	鉱工業プロジェクトフォローアップ調査			
		外	Follow-up Study for Mining, Industry and Power Development projects			
調査団	氏名				総支出経費	57,576,142 円
	所属					
	調査団員数	16名			計画申請	'6年7月28日 国協(鉱調)第7-129号
	現地調査期間	① 平成6年12月5日 ~ 平成6年12月19日 ② 平成7年1月11日 ~ 平成7年1月21日			計画承認	6年11月2日 6通第 1382号
報告書説明期間	③ 平成7年2月27日 ~ 平成7年3月11日			調査完了日	7年3月31日	
使用コンサルタント名		(財)国際開発センター (業務実施契約)		担当	計画課 丸原 篤	

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

今後の開発調査事業の円滑な遂行のため、実施済開発調査案件(本格調査を終了し、相手国政府に最終報告書と提出した案件)のその後の状況を調査・整理・分析することを目的として、以下の調査を行った。

- ① 調査対象範囲
 鉱工業開発調査部がこれまで実施・終了した開発調査案件
- ② 調査の内容
 ・ 本格調査を担当したコンサルタントへのアンケート調査を行う等 実施済開発調査案件の調査概要及び現状等をとりとめるとして、実施済案件の整理・分析を容易にするため データベース入力を行った。
 今年度の調査、一昨年度及び昨年度に引き続いて、「中国工場近代化案件」に関して、現地調査を実施した。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

「中国工場近代化案件」については、提言内容と実施済案件の資金調達の問題、対象工場と周辺企業への技術移転の遅延等の問題点が見られ、システム自体の見直し必要性が確認されたことから、「省を対象とした特産産業の育成、国営企業近代化に対する支援」を行う計画で改善計画提言がなされた。

(3) その他(今後の見通し等)

4. 調査業務の実施に要する経費細目の配分 (※ 計画・変更・流用額は千円未満切り上げ)

No. _____

(単位:円)

		I 調査旅費 (外税)	II 現地調査 (外税)	III 資機材等 購送費 (外税)	IV 報告書 作成費 (外税)	V 技術費 (外税)	VI 附帯費 (外税)	VII 消費税 ※(ア)	小計 (A) (内税)	VIII 機材供与 (外税)	VII 消費税 ※(イ)	小計 (B) (内税)	消費税計 (ア+イ)	合計 (A+B) (内税)
①計画額	事業団直営	4,850,000	1,486,000	15,000	0	//////	1,230,000	228,000	7,809,000	0	0	0	228,000	7,809,000
	コンサ契約分	2,198,000	525,000	0	820,000	48,207,000	0	1,553,000	53,303,000	0	0	0	1,553,000	53,303,000
	計	7,048,000	2,011,000	15,000	820,000	48,207,000	1,230,000	1,781,000	61,112,000	0	0	0	1,781,000	61,112,000
②変更額	事業団直営					//////								
	コンサ契約分													
	計													
③変更後額	事業団直営					//////								
	コンサ契約分													
	計													
④支出実績	事業団直営	4,406,362	604,935	0	0	//////	1,037,948	117	6,049,362	0	0	0	117	6,049,362
	コンサ契約分	1,942,000	177,000	0	820,000	47,087,000	0	1,500,780	51,526,780	0	0	0	1,500,780	51,526,780
	計	6,348,362	781,935	0	820,000	47,087,000	1,037,948	1,500,897	57,576,142	0	0	0	1,500,897	57,576,142
⑤差引額 (①又は③ -④)	事業団直営	443,638	881,065	15,000	0	//////	192,052	227,883	1,759,638	0	0	0	227,883	1,759,638
	コンサ契約分	256,000	348,000	0	0	1,120,000	0	52,220	1,776,220	0	0	0	52,220	1,776,220
	計	699,638	1,229,065	15,000	0	1,120,000	192,052	280,103	3,535,858	0	0	0	280,103	3,535,858

(JICAとコンサルとの契約締結状況等)

コンサルタント名	①計画額 (内税)	②契約締結額 (内税)	③変更・流用額 (内税)	④変更・流用 後額 (内税)	⑤支出実績額 (内税)	⑥差引額 (②又は④-⑤) (内税)
(財)国際開発センター		49,965,300			48,523,300	1,442,000
(財)日本国際協力センター						0
						0
						0
						0

国名		シリア・アラブ共和国			
プロジェクト名	和	電力設備リハビリ・人材育成計画調査 (本格調査)			
	外	Master Plan Study on Rehabilitation & Man Power Training For Power Plants in Syria			
調査団	団長	氏名	千葉 規矩	総支出経費	110,951,606 円
		所属	八千代エンジニアリング㈱ 取締役 国際事業部 技術第2部長	調査の種類	本格
		調査団員数	20 名	計画申請	6年 8月 23日 国協(鉱調) 第 8-048 号
		現地調査期間	平成 6年 10月 28日~平成 6年 12月 2日 平成 7年 1月 12日~平成 7年 2月 7日 平成 7年 3月 10日~平成 7年 3月 24日	計画承認	6年 11月 2日 6通第 1382 号
		報告書説明期間		調査完了日	7年 3月 29日
使用コンサルタント名		八千代エンジニアリング㈱ (業務実施契約)		担当	資源開発調査課 森村 敏彦

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

リハビリテーションの緊急性の高い既存火力発電所を3~4ヶ所選出し、それらのリハビリテーション及びリノベーション計画を策定すると共に、既存の火力発電所を効果的及び効率的に使用するために必要な運転・保守管理を目的とした人材育成計画の検討を行うM/P調査である。

本調査は、以下の調査を行った。

- ①国内準備作業
 - ・関連資料・情報収集・整理
 - ・インセプションレポートの作成
- ②第一次現地調査
 - ・インセプションレポートの提出・説明・協議
 - ・セミナー開催
 - ・資料収集、現地調査
- ③第一次国内作業
 - ・現地調査により得た情報・資料を基に分析をおこなった。
 - ・リハビリ対象の火力発電所を選定
 - ・プログ्रेसレポート作成
- ④第二次現地調査
 - ・プログ्रेसレポートの提出・説明・協議
 - ・選定した火力発電所の詳細調査
 - ・訓練センターの詳細調査
- ⑤第二次国内作業
 - ・リハビリ計画・リノベーション計画の策定
 - ・訓練計画の策定
 - ・インテリムレポートの作成
 - ・セミナー準備
- ⑥第三次現地作業
 - ・インテリムレポートの説明・協議
 - ・セミナー開催

(2) 結論及び勧告(調査結果)

- ・リハビリテーションについて対象火力発電所を選定し、それらについて詳細調査を行いリハビリ計画を策定した
- ・訓練センターについて既存の火力発電所の保守管理状況を把握したうえで、訓練の種類、人数、期間を検討した。

(3) その他(今後の見通し)

平成7年度本格調査を継続し、8月F/R予定。

4. 調査業務の実施に要する経費細目の配分 (※ 計画・変更・流用額は千円未満切り上げ)

No. _____

(単位:円)

		I 調査旅費 (外税)	II 現地調査 (外税)	III 資機材等 購送費 (外税)	IV 報告書 作成費 (外税)	V 技術費 (外税)	VI 附帯費 (外税)	VII 消費税 ※(ア)	小 計 (A) (内税)	VIII 機材供与 (外税)	VII 消費税 ※(イ)	小 計 (B) (内税)	消費税計 (ア+イ)	合 計 (A+B) (内税)
①計画額	事業団直営	2,319,000	789,000	5,000	0	//////	10,000	94,000	3,217,000	0	0	0	94,000	3,217,000
	JICA契約分	22,237,000	2,750,000	5,459,000	1,715,000	76,792,000	0	3,269,000	112,222,000	0	0	0	3,269,000	112,222,000
	計	24,556,000	3,539,000	5,464,000	1,715,000	76,792,000	10,000	3,363,000	115,439,000	0	0	0	3,363,000	115,439,000
②変更額	事業団直営	▲1,210,000	▲672,000	▲5,000	0	//////	▲10,000	▲57,000	▲1,954,000	0	0	0	▲57,000	▲1,954,000
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	▲1,210,000	▲672,000	▲5,000	0	0	▲10,000	▲57,000	▲1,954,000	0	0	0	▲57,000	▲1,954,000
③変更後額	事業団直営	1,109,000	117,000	0	0	//////	0	37,000	1,263,000	0	0	0	37,000	1,263,000
	JICA契約分	22,237,000	2,750,000	5,459,000	1,715,000	76,792,000	0	3,269,000	112,222,000	0	0	0	3,269,000	112,222,000
	計	23,346,000	2,867,000	5,459,000	1,715,000	76,792,000	0	3,306,000	113,485,000	0	0	0	3,306,000	113,485,000
④支出実績	事業団直営	1,052,417	114,579	0	0	//////	0	0	1,166,996	0	0	0	0	1,166,996
	JICA契約分	22,237,000	1,304,000	4,539,000	1,715,000	76,792,000	0	3,197,610	109,784,610	0	0	0	3,197,610	109,784,610
	計	23,289,417	1,418,579	4,539,000	1,715,000	76,792,000	0	3,197,610	110,951,606	0	0	0	3,197,610	110,951,606
⑤差引額 (①又は③ -④)	事業団直営	56,583	2,421	0	0	//////	0	37,000	96,004	0	0	0	37,000	96,004
	JICA契約分	0	1,446,000	920,000	0	0	0	71,390	2,437,390	0	0	0	71,390	2,437,390
	計	56,583	1,448,421	920,000	0	0	0	108,390	2,533,394	0	0	0	108,390	2,533,394

(JICAとコンサルとの契約締結状況等)

コンサルタント名	①計画額 (内税)	②契約締結額 (内税)	③変更・流用額 (内税)	④変更・流用 後額 (内税)	⑤支出実績額 (内税)	⑥差引額 (②又は④-⑤) (内税)
ハナ成エンジニアリング(株)	112,222,000	112,221,590	—	—	109,784,610	2,436,980
						0
						0
						0
						0

No. 6 - 61

国名		区分不能			
プロジェクト名		和	調査団収集資料等整備事業		
		外			
調査団	団長	氏名		総支出経費	11,396,173 円
		所属		調査の種類	
	調査団員数		計画申請	6年 7月 1日 国協(鉦調)第 6 - 256号	
	現地調査期間		計画承認	6年 11月 14日 6通第 1483号	
	報告書説明期間		調査完了日	7年 3月 31日	
使用コンサルタント名			担当	計画課 丸原 篤	

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

海外開発計画調査事業のプロジェクト実施に伴い、

イ. 各種派遣調査団が収集する資料及び本事業の成果品である報告書等は年間膨大な量に達している。これらの収集資料及び報告書等の時系列的・体系的整備を行うことは、以下の観点から極めて重要である。

- (イ) 収集資料の散逸防止
- (ロ) 収集資料の各プロジェクト間の相互利用
- (ハ) 事前調査段階における関連情報の精度向上
- (ニ) 関係者に対する的確な情報等提供のため、収集資料等の整備を行い、海外開発計画調査事業の一層効果的な推進を図る。

ロ. 調査団派遣情報システムにより各種派遣調査団に関する情報を電算機に入力し、事業の推進及び事業実績に把握に必要な各種資料・統計を作成した。

本情報処理の的確・迅速なデータ・チェック管理体制を強化することにより、効果的な情報利用の推進を図った。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

(3) その他(今後の見通し等)

4. 調査業務の実施に要する経費細目の配分 (※ 計画・変更・流用額は千円未満切り上げ)

(単位:円)

		I 調査旅費 (外税)	II 現地調査 (外税)	III 資機材等 購送費 (外税)	IV 報告書 作成費 (外税)	V 技術費 (外税)	VI 附帯費 (外税)	VII 消費税 ※ (ア)	小 計 (A) (内税)	VIII 機材供与 (外税)	VII 消費税 ※ (イ)	小 計 (B) (内税)	消費税計 (ア+イ)	合 計 (A+B) (内税)
①計画額	事業団直営	0	0	0	0	////	0	0	0	0	0	0	0	0
	JICA契約分	0	0	0	13,287,000	0	0	399,000	13,686,000	0	0	0	399,000	13,686,000
	計	0	0	0	13,287,000	0	0	399,000	13,686,000	0	0	0	399,000	13,686,000
②変更額	事業団直営					////								
	JICA契約分													
	計													
③変更後額	事業団直営					////								
	JICA契約分													
	計													
④支出実績	事業団直営	0	0	0	0	////	0	0	0	0	0	0	0	0
	JICA契約分	0	0	0	11,064,250 11,064,250	0	0	331,923	11,396,173 11,396,173	0	0	0	331,923	11,396,173 11,396,173
	計	0	0	0	11,064,250	0	0	331,923	11,396,173	0	0	0	331,923	11,396,173
⑤差引額 (①又は③ -④)	事業団直営	0	0	0	0	////	0	0	0	0	0	0	0	0
	JICA契約分	0	0	0	2,222,750 2,222,750	0	0	67,077	2,289,827 2,289,827	0	0	0	67,077	2,289,827 2,289,827
	計	0	0	0	2,222,750	0	0	67,077	2,289,827	0	0	0	67,077	2,289,827

(JICAとコンサルとの契約締結状況等)

コンサルタント名	① 計画額 (内税)	② 契約締結額 (内税)	③ 変更・流用額 (内税)	④ 変更・流用 後額 (内税)	⑤ 支出実績額 (内税)	⑥ 差引額 (②又は④-⑤) (内税)
(財)日本国際協力センター	13,686,000	13,686,126	△2,289,953	11,396,173	11,396,173	0
						0
						0
						0
						0

注) 支出実績に金額調整がある場合、実績及び差引額の縦計算がずれることがあります。

No. 6 - 62

国名		タイ王国				
プロジェクト名		和	石炭探査・評価調査(予備調査)			
		外	Contact Mission on Coal Exploration and Assessment in the Kingdom of Thailand			
調査団	団長	氏名	荒川 嘉孝		総支出経費	6,881,087 円
		所属	国際協力事業団鉱工業開発調査部資源開発調査課課長代理		調査の種類	予備
	調査団員数	5名		計画申請	6年8月26日 国協(鉱調)第8-093号	
	現地調査期間	6年10月24日 ~ 6年11月2日		計画承認	6年9月27日 6通第 1235号	
	報告書説明期間			調査完了日	6年12月28日	
使用コンサルタント名		大手開発(株) (役務提供契約)		担当	資源開発調査課 名取 智子	

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

1) 調査の背景・経緯

タイ政府は、今後の電力消費の大幅な増加及びセメント産業用燃料とし石炭需要の増加により、エネルギーの安定供給のためには、国産エネルギーである石炭の埋蔵量の確認が極めて重要であると認識している。同国では、1987年以降計画的に探査を実施しているが、今後のエネルギー政策立案にあたり、深層探査を行い埋蔵量をより正確に把握しておく必要から、わが国に対し、より高度な探査技術および解析技術を用いた、石炭の探査、評価に関する調査を要請越した。

2) 調査の目的

今回の予備調査は、先方関係機関との協議及び調査対象候補サイトの踏査を通じて、本格調査実施の必要性を確認し、調査内容・範囲、対象サイト等を明確にするための情報収集を行うことを目的とした。

3) 予備調査の内容

- ①要請の背景・内容の確認
- ②調査対象候補地の踏査
- ③本格調査の内容・範囲の協議
- ④関連情報・資料の収集

(2) 結論及び勧告(調査結果)

本調査の目的を日本側とタイ側との共同の調査による石炭の探査・評価技術の移転とすることで合意した。

事前調査までに、候補地域の詳細資料を提出するよう促した。

(3) その他 (今後の見通し等)

平成7年2月 事前調査実施

4. 調査業務の実施に要する経費細目の配分 (※ 計画・変更・流用額は千円未満切り上げ)

(単位:円)

		I 調査旅費 (外税)	II 現地調査 (外税)	III 資機材等 購送費 (外税)	IV 報告書 作成費 (外税)	V 技術費 (外税)	VI 附帯費 (外税)	VII 消費税 ※(ア)	小計 (A) (内税)	VIII 機材供与 (外税)	VII 消費税 ※(イ)	小計 (B) (内税)	消費税計 (ア+イ)	合計 (A+B) (内税)
①計画額	事業団直営	2,414,000	397,000	0	200,000	//////	10,000	91,000	3,112,000	0	0	0	91,000	3,112,000
	JICA契約分	0	0	0	0	3,956,000	0	119,000	4,075,000	0	0	0	119,000	4,075,000
	計	2,414,000	397,000	0	200,000	3,956,000	10,000	210,000	7,187,000	0	0	0	210,000	7,187,000
②変更額	事業団直営	0	▲146,000	0	▲65,000	//////	5,000	▲6,000	▲212,000	0	0	0	▲6,000	▲212,000
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	▲146,000	0	▲65,000	0	5,000	▲6,000	▲212,000	0	0	0	▲6,000	▲212,000
③変更後額	事業団直営	2,414,000	251,000	0	135,000	//////	15,000	85,000	2,900,000	0	0	0	85,000	2,900,000
	JICA契約分	0	0	0	0	3,956,000	0	119,000	4,075,000	0	0	0	119,000	4,075,000
	計	2,414,000	251,000	0	135,000	3,956,000	15,000	204,000	6,975,000	0	0	0	204,000	6,975,000
④支出実績	事業団直営	2,413,497	240,510	0	133,399	//////	14,562	4,439	2,806,407	0	0	0	4,439	2,806,407
	JICA契約分	0	0	0	0	3,956,000	0	118,680	4,074,680	0	0	0	118,680	4,074,680
	計	2,413,497	240,510	0	133,399	3,956,000	14,562	123,119	6,881,087	0	0	0	123,119	6,881,087
⑤差引額 (①又は③ -④)	事業団直営	503	10,490	0	1,601	//////	438	80,561	93,593	0	0	0	80,561	93,593
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	320	320	0	0	0	320	320
	計	503	10,490	0	1,601	0	438	80,881	93,913	0	0	0	80,881	93,913

(JICAとコンサルとの契約締結状況等)

コンサルタント名	①計画額 (内税)	②契約締結額 (内税)	③変更・流用額 (内税)	④変更・流用 後額 (内税)	⑤支出実績額 (内税)	⑥差引額 (②又は④-⑤) (内税)
大手開拓(株)	4,075,000	4,074,680			4,074,680	0
						0
						0
						0
						0

No. 6-63

国名	イラン・イスラム共和国			総支出経費	12,088,506 円	
プロジェクト名	和	エネルギー最適利用計画事前調査			調査の種類	事前
	外	Analysis of Energy Conservation and Rational Use of Energy in the Social and Economic Sectors of the Islamic Republic of Iran				
調査団	氏名	荒川嘉孝		計画申請	6年9月5日 国協(鉦調)第8-121号	
	所属	JICA 鉱工業開発調査部資源開発調査課		計画承認	6年10月7日 6通第1291号	
	調査団員数	6名		調査完了日	7年3月31日	
	現地調査期間	平成6年10月12日～10月25日				
	報告書説明期間					
使用コンサルタント名	マーテック(株) (役務提供契約)		担当	資調課 永見 光三		

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

JICAの協力で実施した「エネルギー計画」で、主要産業別のエネルギー消費の実態及び省エネポテンシャルの調査・分析を行った。この結果に基づいた具体的な実行計画の策定と調査の目的とする。調査内容は以下のとおり。

- 1) エネルギーデータベースの確立
- 2) 省エネに関する調査
- 3) 政策選択肢に関する調査

(2) 結論及び勧告(調査結果)

H6.10.18 S/Wを署名し、本格調査実施方針が決定した。

(3) その他(今後の見通し等)

H7.8月より、本格調査開始。

4. 調査業務の実施に要する経費細目の配分 (※ 計画・変更・流用額は千円未満切り上げ)

No. _____

(単位:円)

		I 調査旅費 (外税)	II 現地調査 (外税)	III 資機材等 購送費 (外税)	IV 報告書 作成費 (外税)	V 技術費 (外税)	VI 附帯費 (外税)	VII 消費税 ※(ア)	小計 (A) (内税)	VIII 機材供与 (外税)	VII 消費税 ※(イ)	小計 (B) (内税)	消費税計 (ア+イ)	合計 (A+B) (内税)
①計画額	事業団直営	6,649,000	505,000	10,000	200,000	//////	413,000	234,000	8,011,000	0	0	0	234,000	8,011,000
	JICA契約分	0	0	0	0	4,547,000	0	137,000	4,684,000	0	0	0	137,000	4,684,000
	計	6,649,000	505,000	10,000	200,000	4,547,000	413,000	371,000	12,695,000	0	0	0	371,000	12,695,000
②変更額	事業団直営	0	▲310,000	0	▲49,000	//////	▲11,000	▲11,000	▲381,000	0	0	0	▲11,000	▲381,000
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	▲310,000	0	▲49,000	0	▲11,000	▲11,000	▲381,000	0	0	0	▲11,000	▲381,000
③変更後額	事業団直営	6,649,000	195,000	10,000	151,000	//////	402,000	223,000	7,630,000	0	0	0	223,000	7,630,000
	JICA契約分	0	0	0	0	4,547,000	0	137,000	4,684,000	0	0	0	137,000	4,684,000
	計	6,649,000	195,000	10,000	151,000	4,547,000	402,000	360,000	12,314,000	0	0	0	360,000	12,314,000
④支出実績	事業団直営	6,648,923	194,529	9,340	146,408	//////	401,224	4,672	7,405,096	0	0	0	4,672	7,405,096
	JICA契約分	0	0	0	0	4,547,000	0	136,410	4,683,410	0	0	0	136,410	4,683,410
	計	6,648,923	194,529	9,340	146,408	4,547,000	401,224	141,082	12,088,506	0	0	0	141,082	12,088,506
⑤差引額 (①又は③ -④)	事業団直営	77	471	660	4,592	//////	776	218,328	224,904	0	0	0	218,328	224,904
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	590	590	0	0	0	590	590
	計	77	471	660	4,592	0	776	218,918	225,494	0	0	0	218,918	225,494

(JICAとコンサルとの契約締結状況等)

コンサルタント名	①計画額 (内税)	②契約締結額 (内税)	③変更・流用額 (内税)	④変更・流用 後額 (内税)	⑤支出実績額 (内税)	⑥差引額 (②又は④-⑤) (内税)
マテック(株)	4,684,000	4,683,410	—	—	4,683,410	0
						0
						0
						0
						0

国名		ハンガリー共和国			
プロジェクト名		和	ハンガリー共和国自動車部品産業振興計画 予備調査		
		外	The Study on Development of the Automotive Parts Industry in Republic of Hungary		
調査団	団長	氏名	榎下 信徹	総支出経費	10,688,694 円
		所属	国際協力事業団鉦工業開発調査部次長	調査の種類	予備
	調査団員数	5 名	計画申請	6年7月6日 国協(鉦調)第7-35号	
	現地調査期間	平成6年9月18日 ~ 平成6年10月1日	計画承認	6年9月27日 6通第 1235号	
	報告書説明期間		調査完了日	7年12月31日	
使用コンサルタント名		(株)CRC総合研究所	(役務提供契約)	担当	工業開発調査課 永江 勉

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

ハンガリー政府による、国有企業のリストラクチャリングを視野に入れた自動車部品産業の振興計画にかかる調査の実施の要請を受け、予備調査団を派遣し、要請内容の詳細の確認と関連情報の収集を行った。具体的な調査内容は以下のとおり。

①国内事前準備

- ・先方要請内容の詳細検討
- ・関連情報の収集
- ・現地調査内容の検討

②現地調査

- ・要請内容及び政策背景の確認
- ・関連資料、情報の収集
- ・関係機関、対象工場での協議・現地調査

③国内作業

- ・収集資料・情報の整理、分析
- ・予備調査報告書の作成

(2) 結論及び勧告(調査結果)

「ハ」側は自動車部品産業全体のためのマスタープランの必要性を認めず、モデル企業のリストラ調査のみを要望するので、IMAG社を対象として調査を行う旨確認した。

(3) その他(今後の見通し等)

4. 調査業務の実施に要する経費細目の配分 (※ 計画・変更・流用額は千円未満切り上げ)

(単位:円)

		I 調査旅費 (外税)	II 現地調査 (外税)	III 資機材等 購送費 (外税)	IV 報告書 作成費 (外税)	V 技術費 (外税)	VI 附帯費 (外税)	VII 消費税 ※ (ア)	小 計 (A) (内税)	VIII 機材供与 (外税)	VII 消費税 ※ (イ)	小 計 (B) (内税)	消費税計 (ア+イ)	合 計 (A+B) (内税)
①計画額	事業団直営	5,079,000	965,000	0	200,000	//////	115,000	191,000	6,550,000	0	0	0	191,000	6,550,000
	JICA契約分	0	0	0	0	5,111,000	0	154,000	5,265,000	0	0	0	154,000	5,265,000
	計	5,079,000	965,000	0	200,000	5,111,000	115,000	345,000	11,815,000	0	0	0	345,000	11,815,000
②変更額	事業団直営					//////								
	JICA契約分													
	計													
③変更後額	事業団直営					//////								
	JICA契約分													
	計													
④支出実績	事業団直営	4,928,957	450,767	0	43,340	//////	0	1,300	5,424,364	0	0	0	1,300	5,424,364
	JICA契約分	0	0	0	0	5,111,000	0	153,330	5,264,330	0	0	0	153,330	5,264,330
	計	4,928,957	450,767	0	43,340	5,111,000	0	154,630	10,688,694	0	0	0	154,630	10,688,694
⑤差引額 (①又は③ -④)	事業団直営	150,043	514,233	0	156,660	//////	115,000	189,700	1,125,636	0	0	0	189,700	1,125,636
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	670	670	0	0	0	670	670
	計	150,043	514,233	0	156,660	0	115,000	190,370	1,126,306	0	0	0	190,370	1,126,306

(JICAとコンサルとの契約締結状況等)

コンサルタント名	① 計画額 (内税)	② 契約締結額 (内税)	③ 変更・流用額 (内税)	④ 変更・流用 後額 (内税)	⑤ 支出実績額 (内税)	⑥ 差引額 (②又は④-⑤) (内税)
(株)CRC総合研究所	5,265,000	5,264,330			5,264,330	0
						0
						0
						0
						0

No. 6-65(1)

国名		インド国				
プロジェクト名		和	マハラシュトラ州揚水発電開発計画調査(計画部門)			
		外	Master Plan Study on Pumped Storage Hydroelectric Power Development in Maharashtra State			
調査団	団長	氏名	牛島 照美		総支出経費	142,345,525 円
		所属	電源開発(株)		調査の種類	本格
調査団	調査団員数		33 名		計画申請	6年8月15日 国協(鉦調)第8-105号
	現地調査期間		① 9/4 ~ 9/24	③ 1/9 ~ 2/16	計画承認	6年10月7日 6通第1291号
	報告書説明期間		② 10/23 ~ 11/6	④ 3/16 ~ 3/30	調査完了日	7年3月31日
使用コンサルタント名		電源開発(株)、(株)パワコンサルティンギス(業務実施契約)			担当	資源開発調査課 歌丸 恒之

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

マハラシュトラ州の海岸地区であるコンカン地区を対象とし、将来
 フェジビリティ調査の対象となる揚水発電開発プロジェクトを確定
 するため、揚水発電開発のマスタープランを策定し、その中で有望な地点の
 フォルゼを実施することを目的とする。

平成6年度は、マスタープラン調査段階として、現地踏査、電力調査、
 環境調査、地質調査等を実施、更に概略の経済評価を行い
 ランキングスタディを実施した。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

マスタープラン調査の結果、次段階のフォルゼ対象地点として、
 ・Jalond
 ・Marleshwar
 ・Hevale
 の3ヶ地点を選定し、

(3) その他(今後の見通し等)

平成7年度は、上記3ヶ地点について、ボリング、弾性波探査等の
 地質調査、環境影響調査、水文気象調査、移転及び補償調査等
 現地詳細調査を実施する。

4. 調査業務の実施に要する経費細目の配分 (※ 計画・変更・流用額は千円未満切り上げ)

No. _____

(単位:円)

		I 調査旅費 (外税)	II 現地調査 (外税)	III 資機材等 購送費 (外税)	IV 報告書 作成費 (外税)	V 技術費 (外税)	VI 附帯費 (外税)	VII 消費税 ※ (ア)	小 計 (A) (内税)	VIII 機材供与 (外税)	VII 消費税 ※ (イ)	小 計 (B) (内税)	消費税計 (ア+イ)	合 計 (A+B) (内税)
①計画額	事業団直営	1,258,000	115,000	10,000	0	//////	192,000	48,000	1,623,000	0	0	0	48,000	1,623,000
	JICA契約分	23,500,000	5,792,000	418,000	1,091,000	131,455,000	0	4,868,000	167,124,000	0	0	0	4,868,000	167,124,000
	計	24,758,000	5,907,000	428,000	1,091,000	131,455,000	192,000	4,916,000	168,747,000	0	0	0	4,916,000	168,747,000
②変更額	事業団直営	▲57,000	▲18,000	0	0	//////	▲192,000	▲8,000	▲275,000	0	0	0	▲8,000	▲275,000
	JICA契約分	▲2,177,000	▲1,200,000	0	0	▲19,850,000	0	▲697,000	▲23,924,000	0	0	0	▲697,000	▲23,924,000
	計	▲2,234,000	▲1,218,000	0	0	▲19,850,000	▲192,000	▲705,000	▲24,199,000	0	0	0	▲705,000	▲24,199,000
③変更後額	事業団直営	1,201,000	97,000	10,000	0	//////	0	40,000	1,348,000	0	0	0	40,000	1,348,000
	JICA契約分	21,323,000	4,592,000	418,000	1,091,000	111,605,000	0	4,171,000	143,200,000	0	0	0	4,171,000	143,200,000
	計	22,524,000	4,689,000	428,000	1,091,000	111,605,000	0	4,211,000	144,548,000	0	0	0	4,211,000	144,548,000
④支出実績	事業団直営	1,200,055	96,678	9,575	0	//////	0	287	1,306,595	0	0	0	287	1,306,595
	JICA契約分	21,207,000	2,610,000	418,000	1,091,000	111,605,000	0	4,107,930	141,038,930	0	0	0	4,107,930	141,038,930
	計	22,407,055	2,706,678	427,575	1,091,000	111,605,000	0	4,108,217	142,345,525	0	0	0	4,108,217	142,345,525
⑤差引額 (①又は③ -④)	事業団直営	945	322	425	0	//////	0	39,713	41,405	0	0	0	39,713	41,405
	JICA契約分	116,000	1,982,000	0	0	0	0	63,070	2,161,070	0	0	0	63,070	2,161,070
	計	116,945	1,982,322	425	0	0	0	102,783	2,202,475	0	0	0	102,783	2,202,475

(JICAとコンサルとの契約締結状況等)

コンサルタント名	①計画額 (内税)	②契約締結額 (内税)	③変更・流用額 (内税)	④変更・流用 後額 (内税)	⑤支出実績額 (内税)	⑥差引額 (②又は④-⑤) (内税)
電源開発(株)、(株)エフエフエフ・エフエフエフ・エフエフエフ	167,124,000	167,123,680	▲23,923,810	143,199,870	141,038,930	2,160,940 -143,199,870
						0
						0
						0
						0

No. 6 - 65(2)

国名		インド国				
プロジェクト名		和	マハラシュトラ州揚水発電開発計画調査(航測図化部内)			
		外	Master Plan Study on Pumped Storage Hydroelectric Power Development in Maharashtra State			
調査団	調査団長	氏名	畠 聖 昭 二		総支出経費	5,249,910 円
		所属	(株) パスコインターナショナル		調査の種類	本格
調査団	調査団員数	2 名			計画申請	6 年 8 月 15 日 国協(鉦調)第 8-105 号
	現地調査期間	平成 7 年 3 月 10 日 ~ 3 月 30 日			計画承認	6 年 10 月 7 日 6 通第 1291 号
	報告書説明期間				調査完了日	7 年 3 月 31 日
使用コンサルタント名		(株) パスコインターナショナル (業務実施契約)			担当	資源開発調査課 歌丸恒之

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

マハラシュトラ州揚水発電開発計画(計画部内)が必要は 1/10,000 地形図を作成することを目的とする。

平成 6 年度は、作業計画書の作成、平成 7 年度実施の現地再委託契約に向けてインド国関係機関との調整、協議を行った。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

インド国測量局へ委託し、実施する。撮影、飛行に必要な諸手続きは、C/P 機関であるマハラシュトラ州カンガール局を通して行う。

(3) その他(今後の見通し等)

平成 7 年度は、インド国測量局へ委託し、図化撮影を実施する。

4. 調査業務の実施に要する経費細目の配分 (※ 計画・変更・流用額は千円未満切り上げ)

(単位:円)

		I 調査旅費 (外税)	II 現地調査 (外税)	III 資機材等 購送費 (外税)	IV 報告書 作成費 (外税)	V 技術費 (外税)	VI 附帯費 (外税)	VII 消費税 ※(ア)	小計 (A) (内税)	VIII 機材供与 (外税)	VIII 消費税 ※(イ)	小計 (B) (内税)	消費税計 (ア+イ)	合計 (A+B) (内税)
①計画額	事業団直営	0	0	0	0	//////	0	0	0	0	0	0	0	0
	JICA契約分	1,570,000	408,000	0	0	3,227,000	0	157,000	5,362,000	0	0	0	157,000	5,362,000
	計	1,570,000	408,000	0	0	3,227,000	0	157,000	5,362,000	0	0	0	157,000	5,362,000
②変更額	事業団直営					//////								
	JICA契約分													
	計													
③変更後額	事業団直営					//////								
	JICA契約分													
	計													
④支出実績	事業団直営	0	0	0	0	//////	0	0	0	0	0	0	0	0
	JICA契約分	1,570,000	300,000	0	0	3,227,000	0	152,910	5,249,910	0	0	0	152,910	5,249,910
	計	1,570,000	300,000	0	0	3,227,000	0	152,910	5,249,910	0	0	0	152,910	5,249,910
⑤差引額 (①又は③ -④)	事業団直営	0	0	0	0	//////	0	0	0	0	0	0	0	0
	JICA契約分	0	108,000	0	0	0	0	4,090	112,090	0	0	0	4,090	112,090
	計	0	108,000	0	0	0	0	4,090	112,090	0	0	0	4,090	112,090

(JICAとコンサルとの契約締結状況等)

コンサルタント名	①計画額 (内税)	②契約締結額 (内税)	③変更・流用額 (内税)	④変更・流用 後額 (内税)	⑤支出実績額 (内税)	⑥差引額 (②又は④-⑤) (内税)
(株)パスコインターナショナル	5,362,000	5,361,030			5,249,910	111,120 -5,361,030
						0
						0
						0
						0

国名		インドネシア共和国			
プロジェクト名		和	インドネシア共和国セラミック原料開発計画 事前調査		
		外	Study on Development of the Raw Material of the Ceramic Industry in the Republic of Indonesia		
調査団	団長	氏名	石田 滋雄	総支出経費	3,772,041 円
		所属	国際協力事業団 国際協力専門員	調査の種類	事前
	調査団員数	6 名	計画申請	7年 2月 17日 国協(鉦調)第 2-196号	
	現地調査期間	7年 3月21日 ~ 7年 3月30日	計画承認	7年 3月 7日 7通第 91号	
	報告書説明期間		調査完了日	7年 3月 31日	
使用コンサルタント名			担 当	工業開発調査課 垣内 大輔	

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

セラミック産業は大きな潜在市場を有する輸出振興が期待される産業のひとつに位置付けられている。JICAは1991年に産業セクター振興開発計画調査を実施し、その中で「イ」国のセラミック製品産業について調査を行った。

「イ」国側はその提言を受け、関係機関によるワーキンググループを設置し、毎月1回程度の協議を実施している。また、各種原料のサンプルの収集を行い、その成分分析を実施し、有望地点のマッピングも終了した。基本的には資源の賦存状況については鉱山・エネルギー省が所管しており、工業省としては、優良な品質の原料を如何に安定的に供給するか、その体制作りが大きな課題となっている。

本事前調査では、予備調査の結果を受けつつ、引き続き要請内容・背景の確認、関連情報の収集を行うと共に、本格調査の実施に向け、SCOPE OF WORK の署名を行うことを目的として実施された。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

- 1) S/W案について、細微な点で変更があったものの、概ね日本側提案が問題なく受け入れられ、双方合意のうえ署名を行った。
- 2) M/Mにおいて合意した主な点は次のとおり。
 - ①セラミック原料のサンプル分析について、いくつかの原料サンプルにつき、「イ」国のセラミック研究所で日本側研究者と共同作業で分析を行うこととした。
 - ②調査用機材について、上記①の共同作業を行うことを踏まえつつ、必要最小限の機材については日本側から供与することとした。必要機材の詳細については、本格調査のインセプションレポート説明時に、再度協議を行うこととした。
 - ③C/P研修の要望は強かったが、事前調査の時点で受入可能人数、時期など明確なことは言えない旨を説明し、日本側で検討することとした。
 - ④セミナー開催について、D/F説明時のほかに調査の過程でもう一度開いてほしいとの「イ」側要望が強かった。この点についても日本側で検討することとした。

(3) その他(今後の見通し等)

本年7月を目処に、本格調査を開始する予定。

4. 調査業務の実施に要する経費細目の配分 (※ 計画・変更・流用額は千円未満切り上げ)

No. _____

(単位:円)

		I 調査旅費 (外税)	II 現地調査 (外税)	III 資機材等 購送費 (外税)	IV 報告書 作成費 (外税)	V 技術費 (外税)	VI 附帯費 (外税)	VII 消費税 ※(ア)	小計 (A) (内税)	VIII 機材供与 (外税)	VII 消費税 ※(イ)	小計 (B) (内税)	消費税計 (ア+イ)	合計 (A+B) (内税)
①計画額	事業団直営	3,275,000	477,000	25,000	0	//////	515,000	129,000	4,421,000	0	0	0	129,000	4,421,000
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	3,275,000	477,000	25,000	0	0	515,000	129,000	4,421,000	0	0	0	129,000	4,421,000
②変更額	事業団直営					//////								
	JICA契約分													
	計													
③変更後額	事業団直営					//////								
	JICA契約分													
	計													
④支出実績	事業団直営	3,122,200	282,821	0	0	//////	366,830	190	3,772,041	0	0	0	190	3,772,041
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	3,122,200	282,821	0	0	0	366,830	190	3,772,041	0	0	0	190	3,772,041
⑤差引額 (①又は③ -④)	事業団直営	152,800	194,179	25,000	0	//////	148,170	128,810	648,959	0	0	0	128,810	648,959
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	152,800	194,179	25,000	0	0	148,170	128,810	648,959	0	0	0	128,810	648,959

(JICAとコンサルとの契約締結状況等)

コンサルタント名	①計画額 (内税)	②契約締結額 (内税)	③変更・流用額 (内税)	④変更・流用 後額 (内税)	⑤支出実績額 (内税)	⑥差引額 (②又は④-⑤) (内税)
						0
						0
						0
						0
						0

No. 6 - 67

国名		スロヴァキア共和国			
プロジェクト名		和	スロヴァキア共和国熱供給システム近代化計画 予備調査		
		外	The Study on Heating System Modernization in Slovak Republic		
調査団	団長	氏名		総支出経費	5,895,720 円
		所属		調査の種類	予備
	調査団員数		計画申請	6年7月15日 国協(鉦調)第7-122号	
	現地調査期間		計画承認	6年9月27日 6通第1235号	
		報告書説明期間		調査完了日	6年9月30日
使用コンサルタント名		(財)日本プラント協会	(役務提供契約)	担当	工業開発調査課 永江 勉

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

1994年3月に行われた予備調査結果を踏まえて、予備調査報告書を作成すると共に、地域暖房及び産業用の温水供給プラントの近代化及び環境対策についての技術的検討を加え、後の同種の調査に資するよう、技術検討報告書として取り纏めた。具体的な内容は以下のとおり。

①予備調査報告書の作成

②技術検討報告書の作成

- ・予備調査時の収集資料の詳細分析
- ・スロヴァキア国のプラントの近代化計画の分析・評価
- ・熱供給プラント近代化計画の技術的検討
- ・技術検討報告書の作成

(2) 結論及び勧告(調査結果)

対象熱供給プラントが独自に進めている近代化計画及び環境対策が妥当であることが確認された。

(3) その他(今後の見通し等)

4. 調査業務の実施に要する経費細目の配分 (※ 計画・変更・流用額は千円未満切り上げ)

No. _____

(単位:円)

		I 調査旅費 (外税)	II 現地調査 (外税)	III 資機材等 購送費 (外税)	IV 報告書 作成費 (外税)	V 技術費 (外税)	VI 附帯費 (外税)	VII 消費税 ※ (ア)	小 計 (A) (内税)	VIII 機材供与 (外税)	VII 消費税 ※ (イ)	小 計 (B) (内税)	消費税計 (ア+イ)	合 計 (A+B) (内税)
①計画額	事業団直営	0	0	0	150,000	//////	0	5,000	155,000	0	0	0	5,000	155,000
	JICA契約分	0	0	0	0	5,574,000	0	168,000	5,742,000	0	0	0	168,000	5,742,000
	計	0	0	0	150,000	5,574,000	0	173,000	5,897,000	0	0	0	173,000	5,897,000
②変更額	事業団直営					//////								
	JICA契約分													
	計													
③変更後額	事業団直営					//////								
	JICA契約分													
	計													
④支出実績	事業団直営	0	0	0	150,000	//////	0	4,500	154,500	0	0	0	4,500	154,500
	JICA契約分	0	0	0	0	5,574,000	0	167,220	5,741,220	0	0	0	167,220	5,741,220
	計	0	0	0	150,000	5,574,000	0	171,720	5,895,720	0	0	0	171,720	5,895,720
⑤差引額 (①又は③ -④)	事業団直営	0	0	0	0	//////	0	500	500	0	0	0	500	500
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	780	780	0	0	0	780	780
	計	0	0	0	0	0	0	1,280	1,280	0	0	0	1,280	1,280

(JICAとコンサルとの契約締結状況等)

コンサルタント名	①計画額 (内税)	②契約締結額 (内税)	③変更・流用額 (内税)	④変更・流用 後額 (内税)	⑤支出実績額 (内税)	⑥差引額 (②又は④-⑤) (内税)
(社)日本プラント協会	5,742,000	5,741,220			5,741,220	0
						0
						0
						0
						0

No. 6-68

国名		タイ王国				
プロジェクト名		和	首都圏配電システム改善拡張計画 本格調査			
		外	Feasibility Study on Power Distribution System Improvement and Expansion Plan in the Metropolitan Area in the kingdom of Thailand			
調査団	団長	氏名	大河原 邦夫		総支出経費	68,236,567 円
		所属	東電設計株式会社理事		調査の種類	本格
	調査団員数	10名		計画申請	6年 8月 30日 国協(鉦調)第 8-236号	
	現地調査期間	11月16日~12月15日		計画承認	6年 12月 5日 6通第1572号	
	報告書説明期間			調査完了日	7年 3月 28日	
使用コンサルタント名		東電設計株式会社・電源開発株式会社		(業務実施契約)	担当	資源開発調査課 井本 浩之

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

・タイ王国首都圏配電システムの改善拡張計画のため技術、経済、財務、社会、組織及び環境の各方面からフィージビリティ調査を行い、併せ調査実施期間中に配電システム計画改善拡張計画にかかる技術移転をタイ側カウンターパートに対し実施することを目的とする。

・調査内容は以下のとおり

- 1) 送配変電設備事情調査
- 2) 地下空間利用調査
- 3) 社会経済調査
- 4) 初期環境影響調査
- 5) 工事単価調査
- 6) 電力需要予見直し、首都圏配電システム短期拡張計画見直し
- 7) 短期・長期に渡る最適な配電システム改善拡張計画の策定
- 8) フィージビリティ設計
- 9) 工事工程計画策定、工事費及び維持費算出
- 10) 便益評価、経済評価、財務分析
- 11) 総合評価及び提言

(2) 結論及び勧告(調査結果)

第一次現地調査結果をインテリムレポートに取り纏めた。

(3) その他(今後の見通し等)

インテリムレポートをタイ側へ提出し、セミナーを開催する。

4. 調査業務の実施に要する経費細目の配分 (※ 計画・変更・流用額は千円未満切り上げ)

(単位:円)

		I 調査旅費 (外税)	II 現地調査 (外税)	III 資機材等 購送費 (外税)	IV 報告書 作成費 (外税)	V 技術費 (外税)	VI 附帯費 (外税)	VII 消費税 ※(ア)	小 計 (A) (内税)	VIII 機材供与 (外税)	VII 消費税 ※(イ)	小 計 (B) (内税)	消費税計 (ア+イ)	合 計 (A+B) (内税)
①計画額	事業団直営	394,000	12,000	0	0	//////	0	13,000	419,000	0	0	0	13,000	419,000
	JVJV契約分	6,588,000	673,000	0	1,019,000	58,805,000	0	2,013,000	69,098,000	0	0	0	2,013,000	69,098,000
	計	6,982,000	685,000	0	1,019,000	58,805,000	0	2,026,000	69,517,000	0	0	0	2,026,000	69,517,000
②変更額	事業団直営					//////								
	JVJV契約分													
	計													
③変更後額	事業団直営					//////								
	JVJV契約分													
	計													
④支出実績	事業団直営	393,217	12,700	0	0	//////	0	0	405,917	0	0	0	0	405,917
	JVJV契約分	6,462,000	311,000	0	1,019,000	58,063,000	0	1,975,650	67,830,650	0	0	0	1,975,650	67,830,650
	計	6,855,217	323,700	0	1,019,000	58,063,000	0	1,975,650	68,236,567	0	0	0	1,975,650	68,236,567
⑤差引額 (①又は③ -④)	事業団直営	783	▲700	0	0	//////	0	13,000	13,083	0	0	0	13,000	13,083
	JVJV契約分	126,000	362,000	0	0	742,000	0	37,350	1,267,350	0	0	0	37,350	1,267,350
	計	126,783	361,300	0	0	742,000	0	50,350	1,280,433	0	0	0	50,350	1,280,433

(JICAとコンサルとの契約締結状況等)

コンサルタント名	①計画額 (内税)	②契約締結額 (内税)	③変更・流用額 (内税)	④変更・流用 後額 (内税)	⑤支出実績額 (内税)	⑥差引額 (②又は④-⑤) (内税)
東電設計(株), 電源開発株式会社JV	69,098,000	69,097,550			67,830,650	1,266,900
						0
						0
						0
						0

No. 6-69

国名		ブルガリア共和国			
プロジェクト名		和	マリツァ・イースト第1火力発電所再建計画(予備調査)		
		外	Study on Maritsa East No.1 Thermal Plant Replacing Project in The Republic of Bulgaria		
調査団長	氏名	荒川 嘉孝		総支出経費	15,827,140 円
	所属	国際協力事業団鉱工業開発調査部資源開発調査課課長代理		調査の種類	予備
調査団	調査団員数	6名		計画申請	6年10月6日 国協(鉱調)第9-175号
	現地調査期間	6年11月13日 ~ 6年11月26日		計画承認	6年11月2日 6通第1382号
	報告書説明期間			調査完了日	7年1月3日
使用コンサルタント名		西日本技術開発株式会社 (役務提供契約)		担当	資源開発調査課 善光 健治

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

ブルガリア国東部に位置するマリツァ・イースト第1火力発電所(20万kW)は、主要設備機器の寿命に達していること、排煙が環境基準を大幅に越えていること、原子力発電所の一部が停止を余儀なくされていること等から発電所を建て替え、出力を増強する必要性に迫られている。本件は発電所を再建するため F/S を行うものである。

調査内容

- ・国内事前準備作業... 関連情報収集、現地調査日程決定、現地方針検討作業等
- ・現地調査... 界隈内容、背景確認、関連資料収集、N/A署名等
- ・国内整理作業... 収集資料整理分析、報告書作成、S/W案の作成等

(2) 結論及び勧告(調査結果)

予備調査より、プロジェクトの必要性、再設プランの規模
環境関係、S/Wの 概略合意した。

(3) その他(今後の見通し等)

次の事前調査において S/Wの締結を行う予定である。

4. 調査業務の実施に要する経費細目の配分 (※ 計画・変更・流用額は千円未満切り上げ)

No. _____

(単位:円)

		I 調査旅費 (外税)	II 現地調査 (外税)	III 資機材等 購送費 (外税)	IV 報告書 作成費 (外税)	V 技術費 (外税)	VI 附帯費 (外税)	VII 消費税 ※(ア)	小計 (A) (内税)	VIII 機材供与 (外税)	VIII 消費税 ※(イ)	小計 (B) (内税)	消費税計 (ア+イ)	合計 (A+B) (内税)
①計画額	事業団直営	5,748,000	1,041,000	30,000	200,000	//////	112,000	214,000	7,345,000	0	0	0	214,000	7,345,000
	JICA契約分	0	0	0	0	8,766,000	0	263,000	9,029,000	0	0	0	263,000	9,029,000
	計	5,748,000	1,041,000	30,000	200,000	8,766,000	112,000	477,000	16,374,000	0	0	0	477,000	16,374,000
②変更額	事業団直営	▲19,000	▲229,000	▲8,000	▲65,000	//////	▲15,000	▲10,000	▲346,000	0	0	0	▲10,000	▲346,000
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	▲19,000	▲229,000	▲8,000	▲65,000	0	▲15,000	▲10,000	▲346,000	0	0	0	▲10,000	▲346,000
③変更後額	事業団直営	5,729,000	812,000	22,000	135,000	//////	97,000	204,000	6,999,000	0	0	0	204,000	6,999,000
	JICA契約分	0	0	0	0	8,766,000	0	263,000	9,029,000	0	0	0	263,000	9,029,000
	計	5,729,000	812,000	22,000	135,000	8,766,000	97,000	467,000	16,028,000	0	0	0	467,000	16,028,000
④支出実績	事業団直営	5,728,986	811,123	21,700	134,854	//////	96,800	4,697	6,798,160	0	0	0	4,697	6,798,160
	JICA契約分	0	0	0	0	8,766,000	0	262,980	9,028,980	0	0	0	262,980	9,028,980
	計	5,728,986	811,123	21,700	134,854	8,766,000	96,800	267,677	15,827,140	0	0	0	267,677	15,827,140
⑤差引額 (①又は③ -④)	事業団直営	14	877	300	146	//////	200	199,303	200,840	0	0	0	199,303	200,840
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	20	20	0	0	0	20	20
	計	14	877	300	146	0	200	199,323	200,860	0	0	0	199,323	200,860

(JICAとコンサルとの契約締結状況等)

コンサルタント名	①計画額 (内税)	②契約締結額 (内税)	③変更・流用額 (内税)	④変更・流用 後額 (内税)	⑤支出実績額 (内税)	⑥差引額 (②又は④-⑤) (内税)
西日本技術開発(株)	9,029,000	9,028,980			9,028,980	0
						0
						0
						0
						0

No. 6-70

国名		タイ王国			
プロジェクト名		和	首都圏配電システム改善拡張計画 事前調査		
		外	Feasibility Study on Power Distribution System Improvement and Expansion Plan in the Metropolitan Area in the kingdom of Thailand		
調査団	団長	氏名		総支出経費	49,419 円
		所属		調査の種類	事前
	調査団員数		計画申請	6年 9月 22日 国協(鉦調)第 9-043号	
	現地調査期間		計画承認	6年 11月 29日 6通第1533号	
	報告書説明期間		調査完了日	7年 2月 28日	
使用コンサルタント名			担当	資源開発調査課 井本 浩之	

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

当調査は、要請内容及び要請の背景を確認し、調査の実施に係るS/Wについて先方機関と協議し、合意に至った場合にはS/Wの署名を行うことを目的に実施したものであり、本件はその調査結果を報告書に取り纏めたものである。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

事前調査報告書を作成し、関係各機関に配布した。

(3) その他(今後の見通し等)

平成6年度から本格調査開始。

4. 調査業務の実施に要する経費細目の配分 (※ 計画・変更・流用額は千円未満切り上げ)

NO. _____

(単位:円)

		I 調査旅費 (外税)	II 現地調査 (外税)	III 資機材等 購送費 (外税)	IV 報告書 作成費 (外税)	V 技術費 (外税)	VI 附帯費 (外税)	VII 消費税 ※(ア)	小計 (A) (内税)	VIII 機材供与 (外税)	VII 消費税 ※(イ)	小計 (B) (内税)	消費税計 (ア+イ)	合計 (A+B) (内税)
①計画額	事業団直営	0	0	0	48,000	//////	0	2,000	50,000	0	0	0	2,000	50,000
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	48,000	0	0	2,000	50,000	0	0	0	2,000	50,000
②変更額	事業団直営					//////								
	JICA契約分													
	計													
③変更後額	事業団直営					//////								
	JICA契約分													
	計													
④支出実績	事業団直営	0	0	0	47,980	//////	0	1,439	49,419	0	0	0	1,439	49,419
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	47,980	0	0	1,439	49,419	0	0	0	1,439	49,419
⑤差引額 (①又は③-④)	事業団直営	0	0	0	20	//////	0	561	581	0	0	0	561	581
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	20	0	0	561	581	0	0	0	561	581

(JICAとコンサルとの契約締結状況等)

コンサルタント名	①計画額 (内税)	②契約締結額 (内税)	③変更・流用額 (内税)	④変更・流用 後額 (内税)	⑤支出実績額 (内税)	⑥差引額 (②又は④-⑤) (内税)
						0
						0
						0
						0
						0

No. 6-71

国名		ヴィエトナム国			
プロジェクト名		和	ヴィエトナムハノイ地域工業開発マスタープラン事前調査		
		外	The Study on Master Plan of Industrial Development in the Hanoi Area in Viet Nam		
調査団	団長	氏名	佐々木 弘世	総支出経費	1,359,600円
		所属	鉦工業開発調査部工業開発調査課長	調査の種類	事前
	調査団員数		計画申請	6年8月2日 国協(鉦調)第8-008号	
	現地調査期間		計画承認	6年11月2日 6通第 1382号	
	報告書説明期間		調査完了日	6年11月30日	
使用コンサルタント名		監査法人トーマツ (財)日本国際協力センター (役務実施契約)	担当	工業開発調査課 岡田 実	

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

本件調査は同国ハノイ地域の工業開発を促進するための具体的計画を策定し、特に工業団地形成の可能性につき検討することを目的としており、今回は前年度に行った事前調査における報告書の作成を行うものである。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

(3) その他(今後の見通し等)

平成6年7月より本格調査を開始し、平成7年11月に最終報告書が提出される予定である。

4. 調査業務の実施に要する経費細目の配分 (※ 計画・変更・流用額は千円未満切り上げ)

No.

(単位:円)

		I 調査旅費 (外税)	II 現地調査 (外税)	III 資機材等 購送費 (外税)	IV 報告書 作成費 (外税)	V 技術費 (外税)	VI 附帯費 (外税)	VII 消費税 ※(ア)	小計 (A) (内税)	VIII 機材供与 (外税)	VII 消費税 ※(イ)	小計 (B) (内税)	消費税計 (ア+イ)	合計 (A+B) (内税)
①計画額	事業団直営	0	0	0	380,000	//////	0	12,000	392,000	0	0	0	12,000	392,000
	JICA契約分	0	0	0	0	1,225,000	0	37,000	1,262,000	0	0	0	37,000	1,262,000
	計	0	0	0	380,000	1,225,000	0	49,000	1,654,000	0	0	0	49,000	1,654,000
②変更額	事業団直営					//////								
	JICA契約分													
	計													
③変更後額	事業団直営					//////								
	JICA契約分													
	計													
④支出実績	事業団直営	0	0	0	95,000	//////	0	2,850	97,850	0	0	0	2,850	97,850
	JICA契約分	0	0	0	0	1,225,000	0	36,750	1,261,750	0	0	0	36,750	1,261,750
	計	0	0	0	95,000	1,225,000	0	39,600	1,359,600	0	0	0	39,600	1,359,600
⑤差引額 (①又は③-④)	事業団直営	0	0	0	285,000	//////	0	9,150	294,150	0	0	0	9,150	294,150
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	250	250	0	0	0	250	250
	計	0	0	0	285,000	0	0	9,400	294,400	0	0	0	9,400	294,400

(JICAとコンサルとの契約締結状況等)

コンサルタント名	①計画額 (内税)	②契約締結額 (内税)	③変更・流用額 (内税)	④変更・流用 後額 (内税)	⑤支出実績額 (内税)	⑥差引額 (②又は④-⑤) (内税)
(財)日本国際協力センター		185,400			185,400	0
監査法人トーマツ		1,076,350			1,076,350	0
						0
						0
						0

国名		マレーシア			
プロジェクト名		和	マレーシアクリムテクノセンター経営企画 予備調査		
			The Study on Management and Planing of Techno Center for Kulim Hi-Tech Industrial Park in Malaysia		
調査団	団長	氏名	木下 俊夫	総支出経費	2,024,295 円
		所属	国際協力事業団 鉱工業開発調査部 工業開発調査課課長代理	調査の種類	予備
	調査団員数	4 名		計画申請	6年10月7日 国協(鉱調)第10-078号
	現地調査期間	平成6年10月21日 ~ 平成6年10月28日		計画承認	6年11月14日 6通第1483号
	報告書説明期間			調査完了日	7年3月31日
使用コンサルタント名				担当	工業開発調査課 三村 悟

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

1. 調査の背景

マレーシア政府は、第6次5カ年開発計画(1991~1995)において、高付加価値業の育成とハイテク産業の誘致を計画している。

産業発展にむけて企業の努力が重要なことはもちろんのことであるが、インフラ整備等産業開発の基盤整備や投資環境の整備も重要であるとの見地から、UNIDO、JICAが先に実施した調査に基づき初のハイテク工業団地をクリムに計画し、すでに造成等一部の事業に着手している。

その中で、「マ」政府は、経済の高度成長を支え、全体的な発展を加速し、産業界の技術水準を押し上げる科学技術開発が重要であるとの観点から、地元・海外の製造業者に対するR&D活動を促進するためのテクノセンターを設置することを計画。

しかしながら、このテクノセンターの果たすべき役割については明確なもの、それを達成するための具体的手法について、「マ」国はノウハウを持ち合わせておらず対応に苦慮している。

かかる状況の中で、1993年4月、同国政府はテクノセンターが果たすべき役割を効果的に行えるよう必要事項を把握分析し、具体的な行動計画を示すことを目的とした開発調査を日本政府に対し要請越した。

2. 調査の目的

クリム・ハイテク工業団地における企業誘致の実態を含めた現在の開発状況全体を踏まえつつ、ハイテク工業団地の今後の方向性を「マ」国の工業開発及びハイテク産業の開発戦略の中で捉え直し、当該団地の具体的な今後の開発の進め方及びセンターの機能・役割に関し、より包括的な政策提言を行う。

3. 調査内容

(1) 国内事前準備

- 1) 先方要請内容の詳細検討
- 1) 関連情報の収集
- 2) 対処方針の検討・作成

(2) 現地調査

- 1) 要請の背景及び内容の確認
- 2) 関連情報等の収集
- 3) 関係機関との協議・サイト等の踏査

(3) 帰国後国内作業

- 1) 収集資料の整理
- 2) 予備調査報告書の作成

(2) 結論及び勧告(調査結果)

本調査団は、「マ」側関係機関とのS/Wに関する協議及びサイト踏査を行い、クリムハイテク工業団地の差別化の必要性と企業誘致活動の現状を確認した。当方が提出したS/W案を「マ」側は一部の表現方法を除いて内容的には承認した。

(3) その他(今後の見通し等)

12月22日付けでS/W署名。

4. 調査業務の実施に要する経費細目の配分 (※ 計画・変更・流用額は千円未満切り上げ)

(単位:円)

		I 調査旅費 (外税)	II 現地調査 (外税)	III 資機材等 購送費 (外税)	IV 報告書 作成費 (外税)	V 技術費 (外税)	VI 附帯費 (外税)	VII 消費税 ※ (ア)	小 計 (A) (内税)	VIII 機材供与 (外税)	VII 消費税 ※ (イ)	小 計 (B) (内税)	消費税計 (ア+イ)	合 計 (A+B) (内税)
①計画額	事業団直営	1,746,000	121,000	0	200,000	////	344,000	73,000	2,484,000	0	0	0	73,000	2,484,000
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1,746,000	121,000	0	200,000	0	344,000	73,000	2,484,000	0	0	0	73,000	2,484,000
②変更額	事業団直営					////								
	JICA契約分													
	計													
③変更後額	事業団直営					////								
	JICA契約分													
	計													
④支出実績	事業団直営	1,745,254	120,641	0	32,000	////	125,250	1,150	2,024,295	0	0	0	1,150	2,024,295
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1,745,254	120,641	0	32,000	0	125,250	1,150	2,024,295	0	0	0	1,150	2,024,295
⑤差引額 (①又は③ -④)	事業団直営	746	359	0	168,000	////	218,750	71,850	459,705	0	0	0	71,850	459,705
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	746	359	0	168,000	0	218,750	71,850	459,705	0	0	0	71,850	459,705

(JICAとコンサルとの契約締結状況等)

コンサルト名	① 計画額 (内税)	② 契約締結額 (内税)	③ 変更・流用額 (内税)	④ 変更・流用 後額 (内税)	⑤ 支出実績額 (内税)	⑥ 差引額 (②又は④-⑤) (内税)
						0
						0
						0
						0
						0

国名		インドネシア共和国				
プロジェクト名		和	インドネシア共和国セラミック原料開発計画 予備調査			
		外	Study on Development of the Raw Material of the Ceramic Industry in the Republic of Indonesia (Contact Mission)			
調査団	団長	氏名	江崎 弘造		総支出経費	4,202,586 円
		所属	国際協力事業団 専門技術囑託		調査の種類	予備
	調査団員数	6名		計画申請	6年10月3日 国協(鉦調)第10-10号	
	現地調査期間	6年10月24日 ~ 6年11月4日		計画承認	6年11月14日 6通第1483号	
	報告書説明期間			調査完了日	6年11月30日	
使用コンサルタント名				担当	工業開発調査課 垣内 大輔	

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

セラミック産業は大きな潜在市場を有する輸出振興が期待される産業のひとつに位置付けられている。JICAは1991年に産業セクター振興開発計画調査を実施し、その中で「イ」国のセラミック産業について調査を行った。

「イ」国側がその提言を受け関係機関によるワーキンググループを設置し、毎月1回程度の協議を実施している。また、各種原料のサンプルの収集を行い、その成分分析を実施し、有望地点のマッピングも終了した。

産業セクター振興開発計画調査では、「イ」国のセラミック産業において原料の流通状況の問題点が指摘されており、工業省としては、優良な品質の原料を如何に安定的に供給するか、その体制作りが大きな課題となっている。

かかる状況の中で、「イ」国政府は1993年9月、わが国に対し本件調査の実施を正式に要請した。本調査はこれを受け、要請内容の確認と関連情報の収集を目的として実施されたものである。

(2) 結論及び勧告(調査結果)

現地調査において工業省・セラミック研究所と協議を行い、本調査の目的であるセラミック原料の安定的供給のために、各種原料の混合・精練業(坯土業)の創設が必要であるという点で日本側と考えが一致した。

また、「イ」国側で行っている原料のマッピング・サンプル収集・サンプル分析についてその実施状況の調査を行い、進捗状況は良いとは言えないが、今後の本格調査の実施に当たって前提とすることは可能であると思われた。

ただし本調査の性格について、「イ」側はプロジェクト方式技術協力と混同している節が見られ、機材供与等に対する期待が強かった。この点について本調査はあくまで開発調査であるということで、工業省・セラミック研究所側の一応の理解を得られたが、事前調査実施時には相手側の完全な理解が得られるよう再度十分な議論が必要と思われた。

(3) その他(今後の見通し等)

平成7年3月に事前調査を実施した。

4. 調査業務の実施に要する経費細目の配分 (※ 計画・変更・流用額は千円未満切り上げ)

No. _____

(単位:円)

		I 調査旅費 (外税)	II 現地調査 (外税)	III 資機材等 購送費 (外税)	IV 報告書 作成費 (外税)	V 技術費 (外税)	VI 附帯費 (外税)	VII 消費税 ※ (ア)	小 計 (A) (内税)	VIII 機材供与 (外税)	VII 消費税 ※ (イ)	小 計 (B) (内税)	消費税計 (ア+イ)	合 計 (A+B) (内税)
①計画額	事業団直営	3,741,000	778,000	0	0	//////	254,000	144,000	4,917,000	0	0	0	144,000	4,917,000
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	3,741,000	778,000	0	0	0	254,000	144,000	4,917,000	0	0	0	144,000	4,917,000
②変更額	事業団直営	▲50,000	▲453,000	0	0	//////	▲25,000	▲16,000	▲544,000	0	0	0	▲16,000	▲544,000
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	▲50,000	▲453,000	0	0	0	▲25,000	▲16,000	▲544,000	0	0	0	▲16,000	▲544,000
③変更後額	事業団直営	3,691,000	325,000	0	0	//////	229,000	128,000	4,373,000	0	0	0	128,000	4,373,000
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	3,691,000	325,000	0	0	0	229,000	128,000	4,373,000	0	0	0	128,000	4,373,000
④支出実績	事業団直営	3,690,487	310,239	0	0	//////	201,603	257	4,202,586	0	0	0	257	4,202,586
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	3,690,487	310,239	0	0	0	201,603	257	4,202,586	0	0	0	257	4,202,586
⑤差引額 (①又は③ -④)	事業団直営	513	14,761	0	0	//////	27,397	127,743	170,414	0	0	0	127,743	170,414
	JICA契約分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	513	14,761	0	0	0	27,397	127,743	170,414	0	0	0	127,743	170,414

(JICAとコンサルとの契約締結状況等)

コンサルタント名	①計画額 (内税)	②契約締結額 (内税)	③変更・流用額 (内税)	④変更・流用 後額 (内税)	⑤支出実績額 (内税)	⑥差引額 (②又は④-⑤) (内税)
						0
						0
						0
						0
						0

国名		中華人民共和国			
プロジェクト名		中華人民共和国工場（蘇州紡績器材）近代化計画			
		The Study for the Factory Modernization (Suzhou Textile Accesories) in the People's Republic of China			
調査団	団長	氏名	石井 暢夫	総支出経費	23,366,580 円
		所属	テクノコンサルタンツ(株)	調査の種類	本格
	調査団員数	8 名		計画申請	6年11月2日 国協(鉦調)第10-199号
	現地調査期間	平成7年1月12日～平成7年1月21日、 平成7年2月26日～平成7年3月18日		計画承認	6年11月29日 6通第1533号
	報告書説明期間			調査完了日	7年3月31日
使用コンサルタント名	テクノコンサルタンツ(株) (業務実施契約)		担当	工業開発調査課 永江 勉	

1. 計画の概要

(1) 調査目的・調査内容

蘇州紡績器材工場に対し、生産工程、生産管理及び財務管理にかかる工場診断を実施し、既存の設備利用に重点を置いた工場の近代化計画を策定することを目的として、今年度は以下の項目について調査を行った。

①国内事前準備

- ・着手報告書、質問書等の作成

②第一次現地調査

- ・着手報告書の説明、協議
- ・工場の概要調査

③第一次国内作業

- ・第一次現地調査結果及び入手資料の取り纏め、分析

④第二次現地調査

- ・生産工程調査
- ・生産管理調査
- ・財務管理調査
- ・近代化計画作成に必要な資料・情報の収集
- ・進捗状況報告書の作成、提出

(2) 結論及び勧告(調査結果)

当該工場の概要と問題点を調査し、具体的な解決案を提示して協議を行った。生産工程に関しては製造工程上の改良案の提示、運搬、設備配置等の改良による生産性の向上を重視して近代化計画を策定することで合意した。また生産管理については段階的改良案を提示、財務管理については工場の採算性、健全性を検討し、近代化計画について打ち合わせを行った。

生産技術、日本の生産管理、営業計画、財務管理について、各団員がセミナーを行った。

(3) その他(今後の見通し等)

平成7年10月最終報告書完成予定。

4. 調査業務の実施に要する経費細目の配分 (※ 計画・変更・流用額は千円未満切り上げ)

(単位:円)

		I 調査旅費 (外税)	II 現地調査 (外税)	III 資機材等 購送費 (外税)	IV 報告書 作成費 (外税)	V 技術費 (外税)	VI 附帯費 (外税)	VII 消費税 ※ (ア)	小 計 (A) (内税)	VIII 機材供与 (外税)	VIII 消費税 ※ (イ)	小 計 (B) (内税)	消費税計 (ア+イ)	合 計 (A+B) (内税)
①計画額	事業団直営	0	0	0	0	//////	20,000	1,000	21,000	0	0	0	1,000	21,000
	JICA契約分	3,550,000	178,000	21,000	0	18,989,000	0	683,000	23,421,000	0	0	0	683,000	23,421,000
	計	3,550,000	178,000	21,000	0	18,989,000	20,000	684,000	23,442,000	0	0	0	684,000	23,442,000
②変更額	事業団直営					//////								
	JICA契約分													
	計													
③変更後額	事業団直営					//////								
	JICA契約分													
	計													
④支出実績	事業団直営	0	0	0	0	//////	0	0	0	0	0	0	0	0
	JICA契約分	3,550,000	126,000	21,000	0	18,989,000	0	680,580	23,366,580	0	0	0	680,580	23,366,580
	計	3,550,000	126,000	21,000	0	18,989,000	0	680,580	23,366,580	0	0	0	680,580	23,366,580
⑤差引額 (①又は③ -④)	事業団直営	0	0	0	0	//////	20,000	1,000	21,000	0	0	0	1,000	21,000
	JICA契約分	0	52,000	0	0	0	0	2,420	54,420	0	0	0	2,420	54,420
	計	0	52,000	0	0	0	20,000	3,420	75,420	0	0	0	3,420	75,420

(JICAとコンサルとの契約締結状況等)

コンサルタント名	①計画額 (内税)	②契約締結額 (内税)	③変更・流用額 (内税)	④変更・流用 後額 (内税)	⑤支出実績額 (内税)	⑥差引額 (②又は④-⑤) (内税)
テクノコンサルタンツ(株)	23,421,000	23,420,140			23,366,580	53,560
						0
						0
						0
						0